TOSTEM

# 社会環境報告2011

http://www.tostem.co.jp/corporate/csr/　http://www.tostem.co.jp/eco/report/

この内容は、弊社のウェブサイト"社会における責任"、"環境における取り組み"ページの
「社会環境報告2011」の各ページを印刷出力したものです。

目　次


| 目　次 | ページ |
|---|---|
| ■社会における責任 | |
| 社会環境報告書編集方針 | 1 |
| お客様のために | 2 |
| 　　ユニバーサルデザイン・安心・安全 | 3 |
| 　　お客様の声を商品に反映 | 8 |
| 調達先様とともに | 11 |
| 地域社会とともに | 13 |
| 従業員とともに | 15 |
| 　　社員の健康と安全 | 19 |
| 　　人材育成の仕組み | 22 |
| | |
| ■環境における取り組み | |
| 環境マネジメント | 26 |
| 　　2010年度の環境活動実績 | 26 |
| 　　環境リスク管理 | 27 |
| 　　環境教育・モチベーションアップ | 29 |
| 　　環境会計 | 31 |
| 商品づくりの取り組み | 35 |
| 　　商品アセスメント・LCA | 36 |
| 　　環境配慮型商品 | 38 |
| 　　トステムの環境配慮型商品（2011年7月現在） | 40 |
| 事業活動の取り組み | 51 |
| 　　地球温暖化防止 | 52 |
| 　　省資源・廃棄物削減 | 54 |
| 　　化学物質管理・汚染防止 | 56 |
| 　　各事業所での取り組み | 58 |
| 商品と環境活動の歩み | 60 |

# 社会環境報告書編集方針

## 「社会における責任」「環境への取り組み」の編集にあたって

2002年の「環境報告書」発行からこれまで、ステークホルダー（利害関係者）との関わりをまとめたり、要点をダイジェスト版で紹介したり、「社会環境報告書」の掲載情報の充実、読みやすさの改善を図ってまいりました。

2011年4月1日にトステムは、INAX、新日軽、サンウエーブ、東洋エクステリアと統合し、新たに（株）LIXILに生まれ変わりました。当ホームページ内の内容は（旧）トステム（株）としての2010年度の活動報告となります。2011年度の報告より（株）LIXILとして発行する予定です。
※社会環境報告書の内容はWEBのみの公開で、冊子の発行は行っておりません。

今後の活動に反映していくため、ステークホルダーの方々からの当WEBサイトに対するご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いです。

- ご意見・ご感想はこちら
  （株）LIXIL 環境経営推進部（電話：03-6273-3608、mail：kankyoukeiei@lixil.co.jp）
- （旧）INAX、新日軽、サンウエーブ、東洋エクステリアの2010年度活動報告はこちら

**[ 参照ガイドライン ]**

GRIサステナビリティ・レポーティング・ガイドライン2006
環境省 環境報告書ガイドライン（2007年度版）

**[ 対象範囲 ]（旧）トステム株式会社**

国内：本社、生産工場22拠点、物流配送センター8拠点、
営業本部拠点9支社、ビル営業本部8拠点、工事拠点7支店
海外：生産工場2工場

**[ 対象期間 ]**

2010年4月～2011年3月
（活動内容の一部は対象期間以前のもの、本書発行直前の内容も含みます）

**[ 発行 ]**

2011年7月29日

# お客様のために

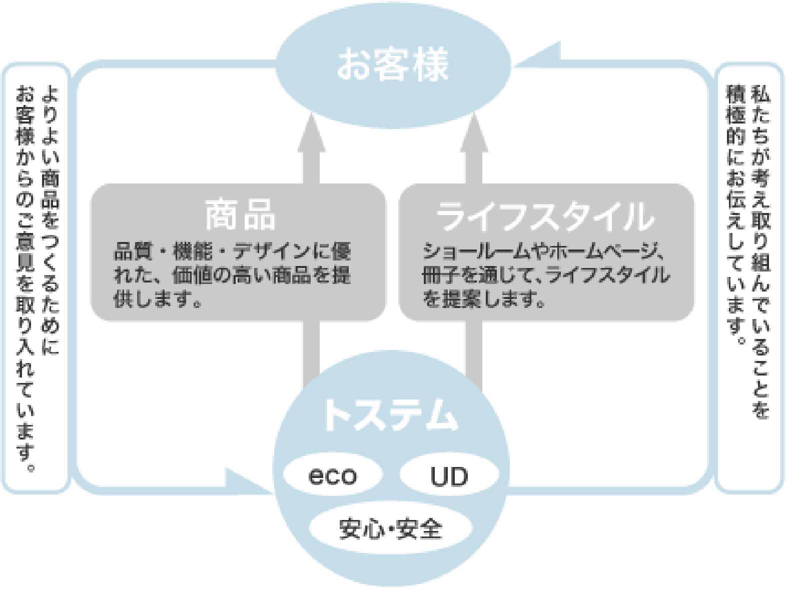
当社は「トータルハウジング※」という発想で、お客様に健康的で快適な住空間を提供し続けていくことを使命とし、建物の「財産価値」とお客様の「暮らしの価値」を高めることにより、「良い家」づくりに寄与していきたいと考えています。

※　トータルハウジングとは？
機能性・操作性・デザイン性に優れた幅広い商品群といったハード面だけでなく、快適な住空間を実現するためのさまざまなノウハウ・システムといったソフト面とともに、トータルな開発・提供を目指すものです。

## お客様に対する品質管理体制について

体系化された品質システムに基づいて、お客様に満足していただける商品の品質づくりに取り組んでいます。

◆ お客様との関わり




[ INDEX ]


| | |
|---|---|
| ユニバーサルデザイン・安心・安全 | ユニバーサルデザイン（UD）への取り組み／防犯の基本的な考え方／耐震への取り組み／商品の安全について |
| お客様の声を商品に反映 | お客様対応と声の把握／お客様相談センターの活動について／商品ご相談窓口について／部品修理ご相談窓口について |

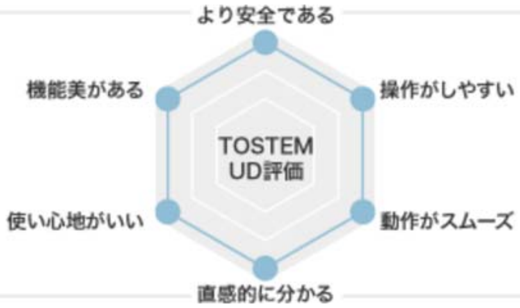
お客様のために

# ユニバーサルデザイン・安心・安全

## ユニバーサルデザイン（UD）への取り組み

商品の使いやすさだけではなく、暮らしの中の楽しさや安心感につながっていく、「笑顔が広がるユニバーサルデザイン」を目指しています。

### ◇ ユニバーサルデザインのものづくりの6原則



◇ ユニバーサルデザイン商品のポイント

**1.より安全である**

扉のすき間を小さくする
「指はさみ防止機構」

**2.操作がしやすい**

カードをかざすだけで施解錠できる
カードキーシステム「CAZAS」(カザス)

**3.動作がスムーズ**

外鍵つきで段差のない全開口の
マルチスライドドア「ガゼリアN」

**4.直感的に分かる**

夜の歩行も安心な階段照明
「スポッ灯」

**5.使い心地がいい**

手にフィットする形状デザインと
冬でも冷たさを感じにくい屋外手すり
「ガードウォーカー」

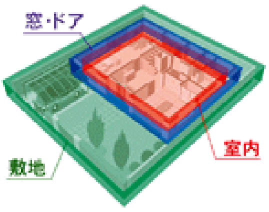
**6.機能美がある**

継ぎ目がないので美しく、
掃除がしやすい洗面ボウル
「セリアーレ」

## 防犯の基本的な考え方

◇ 1棟単位のトータルセキュリティ

住宅における3つの防衛ライン(敷地、窓・ドア、室内)のあらゆる部位、空間で防犯性を高めるため、1棟単位でのトータルセキュリティの開発に取り組んでいます。



◇ 防犯対策商品のポイント

### 1.狙われにくくする

必ず下見をするといわれる侵入盗。スキのない外構計画や設備を配置することで、狙われにくくすることが防犯対策の第一歩です。

パンチング模様で死角をつくらない「ブロードステージ」

透明パネルで隠れ場所をつくらない「クリアステージ」

省エネ・プライバシー配慮に最適「目隠し可動ルーバー」

### 2.侵入されにくくする

簡単に侵入できない、侵入させないための仕組みを研究しています。

**CAKUS（カクス）**

ガラス破りで狙われやすいクレセント錠を框に内蔵して、カギの位置を外から見えなくしました。

**セキュリティサムターン**

万が一玄関ドアのガラスを破って、外から手を入れられても解錠できないよう、施錠つまみが取り外せます。

## 耐震への取り組み

大規模な震災が発生している昨今、地震時のお客様の「不安」を少しでも減らせるよう、より「安心」して暮らすことのできる商品の開発に取り組んでいます。

### ◇ スーパーウォール（SW）工法住宅の耐震性

SW工法住宅の構造体パネルは断熱材を耐力の高いOSBボード※でサンドイッチした構造となっています。これにより、一般在来工法に比べ耐震性の高い住宅となります。

※ OSBボードとは、木材を切削して細長いチップ状にしたものを直交するように積層し、接着剤で再構成した後、熱圧縮成形等を行い、ボードとして成形したもの

SWT60IV パネル（構造体パネル）

### ◇ キッチン収納からの食器類の散乱防止

スライド耐震ロックは、地震の揺れを感知すると自動で引き出しや棚にロックがかかるようになっているので、収納物の飛び出しを防ぐことができます。

スライド耐震ロック
（左：ロック機構なし／右：ロック機構付き）

## 商品の安全について

エンドユーザー様はもちろんのこと、販売店様･施工店様といったビジネスパートナーの安全も考慮した商品づくりを目指しています。新商品の開発にあたっては、商品による事故を未然に防止するために、さまざまな情報の収集･解析と、設計図面や試作体による安全性の検証を行っています。

### ◇ 製品安全基本方針

商品の安全性を高めるために、経済産業省制定の「製品安全自主行動計画策定のためのガイドライン」に則った、「製品安全基本方針」を2007年12月20日に制定しました。「製品安全基本方針」は、商品の製造事業者として社会的な責任を認識し、経営の基本方針に「消費者重視」「製品安全の確保」を掲げ、全社員が遵守すべき行動指針としています。

製品安全基本方針ページへ

### ◇ 商品開発プロセスの安全評価

近年、経年劣化によると思われる製品事故が増えています。このような事故を未然に防ぐために、「設計安全ガイドライン」に基づいた商品開発を行っていますが、これまで起こった商品不具合や商品にからんだ事故などの再発を防ぐために、過去事例をデータベース化して情報共有し、商品開発プロセスで必ずチェックする仕組みも整えています。また、各商品部門に担当者を配置して、部門ごとの安全評価の支援や最新情報の周知など、開発担当者の商品安全に対する意識を高めています。

### ◇ 商品使用時の安全サポート

事故を未然に防ぎ、商品を安全に長くお使いいただくためには、お客様に商品の取扱方法をご理解いただき、使用時にセルフメンテナンスしていただくことが大切です。 取扱説明書では、商品の使い方、使用環境などから正しい安全な使い方についてお伝えするとともに、商品に関するお問い合わせ窓口、メンテナンス方法、部品の交換方法なども掲載しています。この取扱説明書は商品に必ず添付するほか、ホームページ「お客様サポート/WEB取扱説明書」からご覧いただけます。

WEB取扱説明書のページへ

## TOPICS

### ◇ アスベストの使用状況について

現在、当社ではアスベストを使用する製品はありません。しかし、過去に製品の一部に原料としてアスベストを使用した、またはアスベスト配合材料を用いて製品を製造した時期があるため、現時点で把握している内容をHPにてお知らせしています。

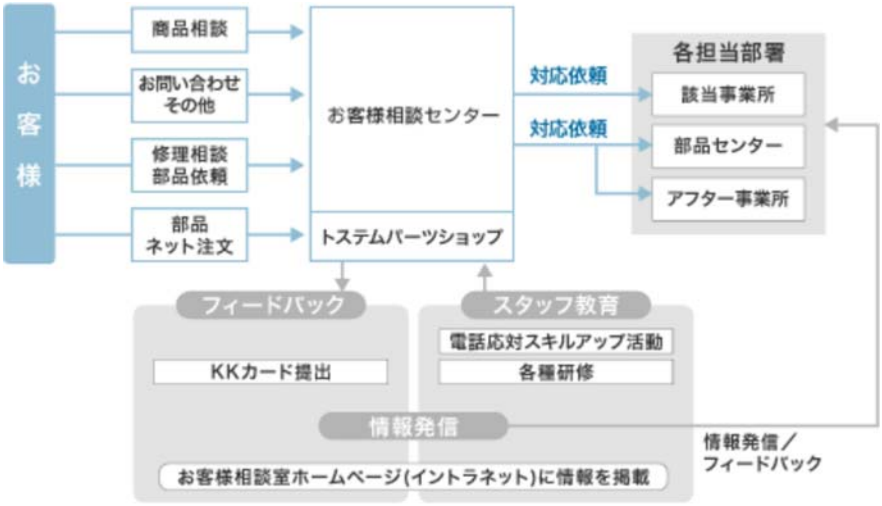
当社におけるアスベスト（石綿）の使用状況について
http://tostem.lixil.co.jp/oshirase/asbestos/asbestos.htm

お客様のために
# お客様の声を商品に反映

## お客様対応と声の把握

当社では、「安心･安全･満足」を第一に、より質の高い商品･サービスが提供できるよう、さまざまな取り組みを進めています。お客様相談センターやショールームにおいて、お問い合わせやご相談への対応を強化しています。

◆ お客様への対応フロー



## お客様センターの活動について

### ◇ お客様の声を社内へ発信する

**(1)顧客満足度の調査と活用**

年に2回、カタログの請求依頼のあったお客様に対して、記述アンケート形式の満足度調査を実施しています。調査結果は分析し各関連部署とともに応対方法の改善に活用し、お客様満足度の向上に努めています。

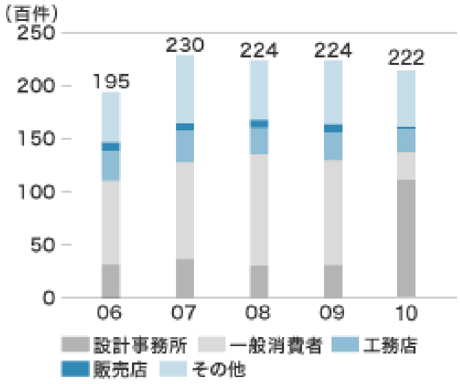
**(2)お客様ニーズへの対応**

お客様相談センターが受けるお問い合わせは約19,000件／月です。お客様相談センターにいただいたご意見は、依頼内容、商品別内容等にとりまとめ、イントラネットを通じて社内担当部署に情報を発信し、情報共有を図っています。これらのお問い合わせやご相談に対しては、商品開発·営業·生産·アフターメンテナンス部門と連携を取りながら迅速に対応しています。

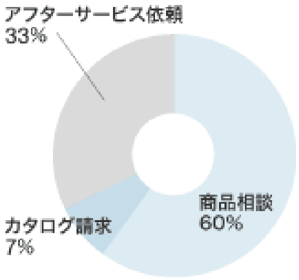
**(3)営業現場での対応**

お客様相談センターによくお問い合わせいただくご質問やその対応方法などをまとめ、営業現場へフィードバックしています。営業現場が迅速にお客様への対応ができるよう支援ツールづくりを行い、お客様対応の質の向上に努めています。

### ◆ お客様相談センターのお問い合わせ件数




### ◆ お問い合わせ内容内訳(2010年度)



## 商品ご相談窓口について

### ◇ 商品内容と商品の使い方のお問い合わせに対応する

商品ご相談窓口では、商品に関するあらゆるお問い合わせに「正確・迅速・親切」な対応を心掛けています。お問い合わせは、エンドユーザー様だけではなく、設計事務所様、工務店様、販売店様などプロユーザー様からも多く寄せられます。最近は特に、商品のご購入検討の他、商品の使い方・お手入れの仕方についての相談が増えています。Q&A集をネット公開するなど、お客様にご満足いただけるよう仕組みづくりを進めています。

## 部品・修理ご相談窓口について

### ◇ トステムパーツショップを運営する

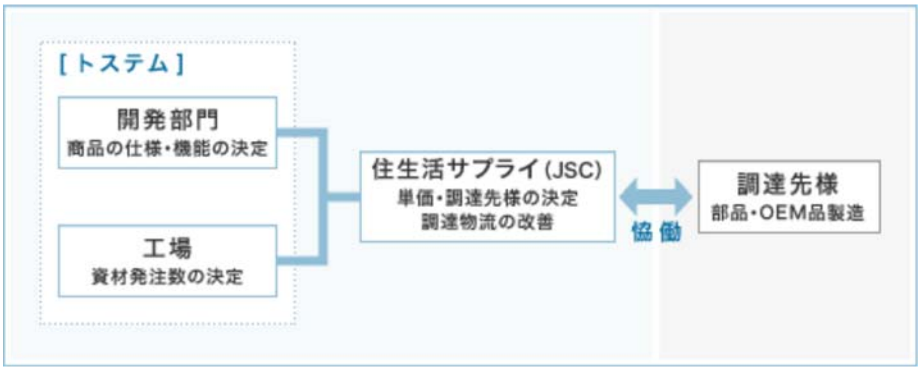
部品・修理ご相談窓口に寄せられる補修ご依頼や部品ご注文のお問合せの中には、生産終了後20年を超えるような旧商品に関するものも含まれます。これまでは、お調べするのに時間がかかりお客様にご不便をお掛けすることもありました。そこで商品の部品および修理お問合せの専門窓口 『部品・修理ご相談窓口』 を設置しました。さらに、2007年8月よりインターネット上に『トステムパーツショップ』を開設し、お客様ご自身が24時間いつでも直接、部品のご注文をいただくことができるようになりました。欲しい部品を画像で確認できるため、非常に分かりやすいと好評をいただいています。

トステムパーツショップ

# 調達先様とともに

お客様に、より安全で高品質な商品を提供できるように、原材料や部品、設備などの調達にあたっては、それら調達先様に対して品質、コスト、納期、サービス、そして環境という観点からの評価を実施しています。

◆ 調達先様との関係図（2010年4月～2011年3月）




## 公正な取引のための取り組み

◇ 調達基本方針

法令の遵守はもちろんのこと、新規調達先様に対しても、以前より取引のある調達先様と同じ基準で取引を行います。

◇ 新規取引評価の実施

初めて取引をする調達先様について取引評価基準を設け、品質・品質保証能力・価格・納期・技術力・安定供給能力だけでなく、コンプライアンスの観点から企業の信頼性など、総合的に評価して取引を行います。

### TOPICS

◇ 公正取引のために、調達先様情報管理システムの導入

イントラネット上のページに調達先様がそれぞれ企業紹介ページを持ち、企業情報、商品紹介、ISO14001やエコアクション21の取得状況など、自由に情報公開できるシステムを2009年に導入しました。これは、調達先様の有益な情報をすばやく社内へ周知できるとともに、社外に向けて情報公開することで調達担当者と調達先様の公正取引を監視できるというメリットがあります。

## 品質と生産性向上へ向けた取り組み

### ◇ 部品品質の向上

調達する部品類は商品性能を決める重要な役割をもっているため、調達先様と協働した品質の維持・改善と、安定した供給ができる生産性の確保が必要です。調達先様に対して定期的に訪問を実施するだけではなく、調達先様への支援・指導や協働で品質改善と生産性向上に取り組んでいます。

### ◇ 新規調達先様への訪問

新たに取引を開始する調達先様には必ず事前訪問し、調達品の品質・品質保証能力・価格・納期・技術力などを確認するほか、調達先様の生産体制のチェックなども併せて行っています。

## 調達品の品質管理

### ◇ 各工場での品質チェック

当社の品質基準を満たした原材料や部品のみを調達先様から一括購入しています。納入された原材料・部品に関しては、仕様書通りに当社の基準を満たすものであるかを改めて各工場で品質のチェックを行い、調達品を含めた品質の監視をしています。

# 地域社会とともに

ショールーム、販売拠点、そして関連会社・海外を含めての工場、工事・メンテナンス支店を展開しています。事業を行う上でそれぞれの拠点ごとに、近隣の皆さま、そして地域社会との関係が重要であると考えています。

地域社会に対する雇用の創出や納税といった、企業として当然の義務を果たすのはもちろんのこと、住まいづくりに関わる企業として主に工場やショールームを中心に、地域の皆さまに対してさまざまな形での貢献や交流を行っています。

### ◆「知ること、たのしむこと、やさしい暮らしのこと」映画上映会　開催

トステムショールーム東京（現：LIXIL東京総合ショールーム）と社会環境推進部は、昨年に引き続き2010年5月27日から隔週にわたり「子育て」をテーマとしたドキュメンタリー映画上映会を無料で開催しました。ご参加の皆さまが、より良い暮らしや社会について考えるきっかけとなることを目的として開催しています。今年は「挑戦」をテーマに、子どもたちの葛藤やチャレンジする姿を捉えたドキュメンタリー映画3作品を上映いたしました。普段子育てや家事に忙しい女性に向け、当日は無料保育付き、もしくはお子様と一緒に観覧可能としました。上映会後には映画のテーマについて語る「映画サロン」を開催し、充実した参加型イベントとなりました。

### ◆「第3回 東京都江東区環境フェア」に出展

2010年6月6日、えこっくる江東環境学習情報館（東京都江東区）にて開催された「第3回 江東区環境フェア」に出展しました。イベントには、江東区を中心に活動するNPO団体や、区内に事業所のある企業など49団体が参加しました。トステムブースでは、「江東区民の方々と一緒にエコを学ぶ」をテーマに、使用済みの紙袋や包装紙、雑誌の切り抜きを使用したギフトバッグや封筒づくりを実施し、お子様やそのご家族など合計125名が来場し、ブース内は非常に多くのお客様で賑わいました。

### ◆「第28回 東京都江東区民まつり」に出展

2010年10月16日と17日の2日間、都立木場公園（東京都江東区）にて開催された「第28回 江東区民まつり」に出展しました。このイベントは、東京都江東区が快適なまちづくりの推進のため「世代をつなぐ心のふれあい」をテーマに、誰もが気軽に楽しめるお祭りとして毎年開催されています。トステムブースでは「江東区の子供たちと一緒にエコを学ぶ」をテーマに、「手ぬぐいの使い方講座」や「古紙で折紙・アクセサリー教室」、住まいや暮らしのエコを遊んで学べる「めざせ！エコ大臣！ゲーム」を開催しました。特にオリジナル手ぬぐいを使った講座は、意外と知らない手ぬぐいの歴史や包み方を学べる場として大変ご好評で、子どもから大人まで多くの方にエコな暮らしに興味を持っていただくことができました。

◆「第20回 坂東市いわい将門ハーフマラソン大会」に協賛

茨城県坂東市主催の「第20回坂東市いわい将門ハーフマラソン大会」に協賛しました。当社は茨城県、坂東市と連携し、地域社会への環境活動の一環として岩井工場内に国内最大級の太陽光発電システムを建設しており、今回もその地域社会への貢献の一環として協賛いたしました。また、茨城県の岩井工場、下妻工場、石下工場、大和工場のほか、本社などから約160名の社員もエントリーし、全員完走いたしました。

◆ トステムショールーム東京が「クリスマスコンサート」を開催

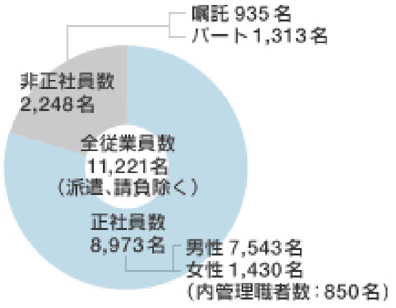
トステムショールーム東京(現:LIXIL東京総合ショールーム)では、ショールームのある江東区を中心に活動しているソプラノ歌手とピアニストをお招きし、12月23日にクリスマスコンサートを開催しました。「サンタが街にやってくる」「もろびとこぞりて」など子どもから大人まで楽しめるクリスマスソング7曲を披露しました。お子さま連れのご家族や近隣にお住まいの方々を中心に45組125名のお客様が来場し大盛況となりました。また当日は2011年7月11日(月)に同ショールームで開催される「X-change(エクスチェンジ)」イベントに向けて、今は使っていない子ども服や絵本の回収も実施し、思い出が詰まったたくさんの品々が持ち寄られました。

# 従業員とともに

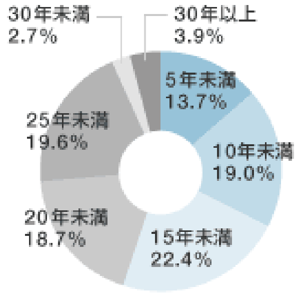
## 人権尊重に基づく採用と雇用の機会均等

社員一人ひとりが大切な人材であり、その潜在能力を最大限に引き出すために、「適材適所」と「企業家精神を尊重する社風」づくりを大切にしています。採用においても、個人の学歴、性別、年齢、国籍、宗教、身体的障害にとらわれず、明るく元気なプラス志向をもつ人材を採用しています。

### ◆ 全従業員数の内訳（2011年3月末時点）




### ◆ 勤続年数別構成比（2011年3月末時点）




### ◆ 新卒者・中途者の採用人数

| | 新卒採用者数 | | | 中途採用者数 | 定年後再雇用 | 障害者採用者数 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 大卒文系 | 大卒技系 | 高　卒 | | | | 雇用率 |
| 2006 | 72名 | 79名 | 0名 | 4名 | 59名 | 6名 | 1.82% |
| 2007 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 43名 | 5名 | 1.84% |
| 2008 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 39名 | 2名 | 1.81% |
| 2009 | 0名 | 0名 | 0名 | 0名 | 54名 | 2名 | 1.87% |
| 2010 | 50名 | 30名 | 0名 | 3名 | 41名 | 3名 | 1.90% |

## 仕事と家庭の両立支援

出産や育児のための出産休暇※1と育児休業制度※2を設けています。また、育児期間は勤務時間を短縮する※3ことも可能です。パート社員も勤続年数が1年以上であれば、正社員と同様に育児休業制度を利用できます。

※1 育児休業制度： 1歳未満の子どもを養育する男女社員は、子どもが満1歳になるまでの期間内で休業することができます。但し、保育所に入所を希望しているにもかかわらず、保育所の都合で入所できない等、本人の都合によらない事情で子が1歳を超えても休業が必要と認められる場合に限り、子が1歳6ヶ月に達するまで育児休業を延長することができます。
※2 出産休暇：社員が出産する場合、出産予定日6週間前から産後8週間以内の休暇を取ることができます。
※3 育児期間勤務時間短縮制度：満3歳未満の子どもを養育する男女社員が対象。1日の所定労働時間を1時間または2時間短縮することができます。

### ◆ 育児休暇制度の利用者数と復職率

| 2006 | 2007 | 2008 | 2009 | 2010 |
|---|---|---|---|---|
| 98名（復職率90%） | 92名（復職率97%） | 88名（復職率97%） | 83名（復職率92%） | 91名（復職率97%） |

### ◆ 育児期間勤務時間短縮制度の利用者数

| 2006 | 2007 | 2008 | 2009 | 2010 |
|---|---|---|---|---|
| 49名 | 54名 | 82名 | 76名 | 57名 |

介護休業制度※1は、やむをえない事情により家族の介護にあたらなければならない社員の生活をサポートするための制度で、このほかに介護期間勤務時間短縮制度※2もあります。

※1 介護休業制度：家族の介護を行う社員の職場と家庭生活の両立を支援することを目的とした支援制度です。対象家族1人につき1回休業可能で、期間は最長1年間です。
※2 介護期間勤務時間短縮制度：介護休業を取得できる社員は、本人の申し出があれば1日の所定労働時間を1時間または2時間短縮することができます。

### ◆ 介護休業制度の利用者と復職率

| 2006 | 2007 | 2008 | 2009 | 2010 |
|---|---|---|---|---|
| 7名（復職率100%） | 8名（復職率100%） | 5名（復職率100%） | 10名（復職率90%） | 6名（復職率67%） |

また、満1歳未満の子どもを養育する男女社員、要介護状態にある家族を介護する社員は、時間外勤務※3や深夜業務※4を制限することができます。

※3 時間外勤務の制限：本人の申し出があれば、事業の正常な運営に支障がある場合を除いて、1ヵ月24時間、1年間150時間を超える時間外労働はさせません。
※4 深夜業務の制限：本人の申し出があれば、事業の正常な運営に支障がある場合を除いて、午後10時から午前5時までの就業はさせません。

## 福利厚生・労働組合

社員の豊かな暮らしとゆとりある生活を実現するために、労働組合や健康保険組合と協力して、生活向上、ライフステージ支援、相互扶助などを軸とした福利厚生の充実に努めています。

### ◆ 主な福利厚生と対応組織

| | | トステム | 労働組合<br>スマイルクラブ※ | 健康保険組合 |
|---|---|---|---|---|
| 健康増進・管理 | レクリエーション | ○ | ○ | ― |
| | 保養所 | ○ | ○ | ― |
| | 健康管理 | – | – | ○ |
| 退職後のゆとり | 年　金 | ○ | – | – |
| | その他 | ○ | ○ | ○ |
| 生活の支援 | 教育・育児・介護 | ○ | – | ○ |
| | 貯蓄・融資 | ○ | ○ | – |
| | 住まい | ○ | ○ | – |
| | その他 | ○ | ○ | – |
| 生活保障 | 病　気 | ○ | ○ | ○ |
| | 災　害 | ○ | ○ | – |
| 慶弔金の給付 | 祝　金 | ○ | ○ | – |
| | 弔　慰 | ○ | ○ | ○ |

※ スマイルクラブ：労働組合員とその家族の生涯福祉増進を支援する共済会です

### ◆ 各種相談窓口

| 相談の内容 | 窓口 |
|---|---|
| セクハラ相談窓口 | 人事企画部 |
| 人事何でも相談窓口 | 人事企画部 |
| 職場の問題 | 労働組合 |
| 法律相談 | 労働組合 |
| 消費者金融相談 | 労働組合 |
| 健康相談 | 健康保険組合 |
| 法律・財務・福祉相談 | スマイルクラブ／各事業所総務課 |
| 交通事故の相談 | スマイルクラブ／各事業所総務課 |
| ローンおよび貯蓄の相談 | スマイルクラブ |
| ファイナンシャルプラン相談 | スマイルクラブ |
| 介護、健康、マナー、しきたり、<br>人間関係の悩みなど | スマイルクラブ／各事業所総務課 |

### ◆ 労使の協調

労働組合活動は自主的に行われますが、その取り扱いについては会社と取り決めをしておく必要があります。これを「労使基本協定」といい、労使協議会の設置、団体交渉の方法、紛争処理の手続き、安全衛生に関する基本事項など、相互に取り決めた項目で構成されています。この協定を踏まえ、労使は協調して社員が働きやすい職場環境づくりに向けて活動しています。現在総従業員11,221名※のうち72.4%にあたる8,123名が労働組合員です。

※ トステム原籍の正社員、嘱託、パートを対象とする。（2011年3月末現在）

### ◆ 2011年度の労働組合の活動

労働組合では「1. 考えよう。私たちのくらし。私たちのみらい。2. つくろう。働きがいのある職場。生きがいのある社会。 3. かなえよう。私たちの想い。みんなの願い。」というスローガンを掲げています。
2008年度から“前年よりも1日多く有休を取得する”ことを目的とした「有休プラス1活動」を推進しています。そして2009年度からは取得意識向上を目的とした『有休シール』付きオリジナル卓上カレンダーの配付も行なってきました。今年度もこの活動を進めながら有休取得日数向上に努めていきます。

### ◆ その他の主な活動

- **機関誌「トステムライフ」の刊行：**
  2ヶ月ごとに労働組合の活動内容をまとめた小冊子を発行し組合員に配布しています。
- **職場環境改善表彰：**
  職場環境を毎年同じ基準で評価し、顕著な改善の見られた職場を表彰しています。
- **悩み・苦情相談：**
  職場の悩み、法律、セクハラ、交通事故、お金などの相談ができる窓口を設けています。
- **労働組合イントラHP「ちゅ〜ねっと」の公開**
  各地域の活動報告、人事制度・福利厚生の紹介のほか、Webからの悩み・苦情相談窓口も設けています。

▲労働組合イントラHP「ちゅ〜ねっと」

※ 2011年5月1日から、トステム労働組合はLIXIL労働組合に変わりました。

従業員とともに
# 社員の健康と安全

産業医、保健師の指導のもと、会社、労働組合、健康保険組合が一体となり、従業員一人ひとりが健康でいきいきと働く事ができる職場づくりに取り組んでいます。

## 社員の健康

### ◆ 生活習慣病への対策

最近は特に、糖尿病、脂質異常症、肥満症などの生活習慣病が増えています。健康保険組合では健康増進事業として、定期健康診断で検査値に異常が見られた社員に対して危険因子を減らすキャンペーンを実施しています。年に2回実施している社員やご家族が参加できる「健康作りチャレンジ」では、2009年度の参加者数が延べ4,774名にのぼり、うち目標達成者は3,342名（達成率70%）となりました。

▲機関誌「けんぽ」の健康づくりチャレンジ参加募集ページ

### ◆ 『健康づくりチャレンジ』参加者数（年2回実施）

| | 2009年度（上期・下期合計） | | 2010年度（上期・下期合計） | |
|---|---|---|---|---|
| | 社員 | ご家族 | 社員 | ご家族 |
| 10ヶ月ウォーク／サイクリング | 114 | 32 | 120 | 37 |
| 3ヶ月ウォーキング／サイクリング | 877 | 196 | 797 | 187 |
| 筋力アップチャレンジ | 582 | 75 | 604 | 66 |
| 運動習慣チャレンジ | 1,437 | 285 | 1,592 | 340 |
| 休肝日チャレンジ | 397 | 86 | 461 | 69 |
| 禁煙チャレンジ | 86 | 4 | 160 | 5 |
| ダイエットチャレンジ | 427 | 67 | 426 | 69 |
| ベルト穴1つ減チャレンジ | 97 | 12 | 80 | 15 |
| 合計 | 4,017 | 757 | 4,240 | 788 |
| | 4,398 | | 5,028 | |

### ◆ メンタルヘルスの取り組み

うつ病は、早期発見、早期治療が大切です。2007年度からメンタル不全を早期に発見するために、メンタル面の「ストレスチェック」のプログラムを導入しました。このプログラムでは、希望する事業所でメンタルセミナーとストレスチェックの実施、必要な人への産業面談の実施、事後フォローなどを一体になって行っています。2010年度以降も継続してメンタル面のケアの強化を進めていきます。

▲メンタルセミナーの様子

世間同様に、弊社におきましてもメンタルヘルス不全により休業する従業員が増加傾向にあります。そこで2009年3月度からメンタルヘルス不全により欠勤している従業員の職場復帰を支援することを目的とした『職場復帰プログラム』を導入いたしました。休業開始から、職場復帰までを4ステップに分け、産業医による休業中のケアから復帰後のフォローまで、一人ひとりにきめ細かいサポートを目指していきます。また今後は、管理職を対象としたメンタルヘルスのプログラム作りにも取り組んでいきます。

| | 2006 | 2007 | 2008 | 2009 | 2010 |
|---|---|---|---|---|---|
| メンタルセミナー | 406名 | 408名 | 489名 | 279名 | 214名 |
| ストレスチェック | 1,998名 | 1,330名 | 316名 | 1,892名 | 461名 |

### ◆ 健康診断・保健指導

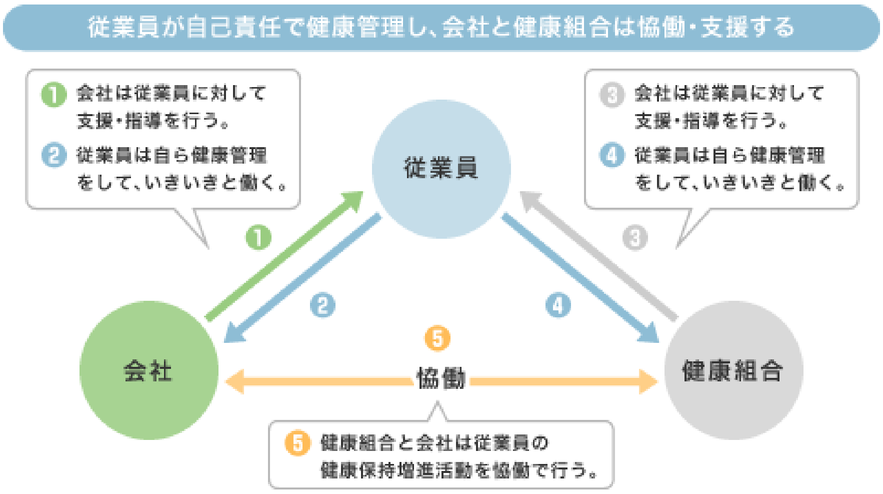
健康保険組合では、身体の病気を早期発見・早期治療をするために人間ドック、歯科検診などの健康診断や、病気を未然に防ぐための各種保健指導などを行い、社員の健康をサポートしています。

| | 2006 | 2007 | 2008 | 2009 | 2010 |
|---|---|---|---|---|---|
| 人間ドック受診者数 | 2,454名 | 2,696名 | 2,606名 | 3,095名 | 3,186名 |
| インフルエンザ予防接種補助 | 6,444名 | 8,468名 | 7,794名 | 5.636名 | 8,452名 |
| 特定保健指導※ | – | 255名 | 409名 | 406名 | 278名 |

※ 特定保健指導：「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、メタボリックシンドロームを予防するために40～74歳の被保険者及び被扶養者に対して2008年度から「特定健診」の実施が義務付けられました。

### ◆ 特定健診・保健指導への対応

2008年4月特定健診・保健指導の義務化にともない2007年度を仕組み作りの準備期間として、全国の事業所の対象者（被保険者全員と35歳以上の扶養者）に生活習慣に関するアンケートの実施や、9事業所を対象に特定保健指導に準じた保健指導を行ってきました。
2008年度から3年間で、全加入事業所の指導対象者に対し、特定保健指導を行うことを目標としています。
今後も本社人事部、各事業所人事責任者、健康保険組合が連携したプロジェクトを組み、会社、従業員、健康保健組合の役割を明確にした上で、従業員全員の生活習慣改善に積極的に取り組んでいきます。



# 安全に働ける職場づくり

## 安全衛生体制

2001年1月に制定した「トステムグループ事業所安全衛生方針」※1の達成のため、OSHMS※2を元にして作られたトステム労働安全衛生マネジメントシステム（TOSAC）※3を構築し、同年4月から運用、24事業所を活動単位として各事業所で安全衛生管理委員会を設置し安全衛生活動を行っていきました。災害の再発防止・未然防止対策に重点を置き、全国の生産部門24事業所を対象に「安全の3原則」を軸に、過去に災害があった設備を再度安全点検するとともに、類似設備・作業についても再度安全点検を行っています。さらにKYT※4や「ヒヤリ・ハット」のツールを活用した安全先取り活動を進めながら、従業員への安全意識の向上を図っています。

※1 「トステムグループ事業所安全衛生方針」
1）今日一日の安全が全てである
2）グループの強みを生かした安全衛生管理である

※2 OSHMS：OCCUPATIONAL SAFETY AND HEALTH MANAGEMENT SYSTEMの略称。労働安全衛生マネジメントシステム。

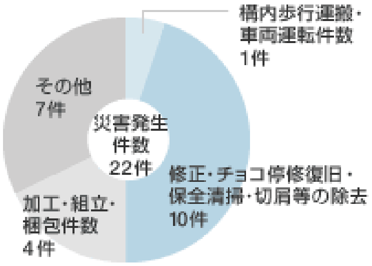
※3 TOSAC（トーザック）：TOTAL ORIGINAL SAFETY AND AMENITY CONTROL SYSTEMの略称。このシステムは生産部門の従業員のほぼすべてを対象としています。

※4 KYT：危険予知訓練

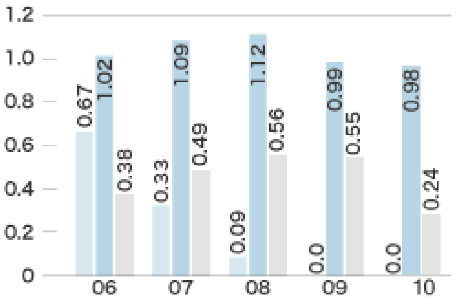
### ◆ 安全衛生への取り組み

災害が発生した場合、その発生状況や原因などを把握した「災害速報」を他事業所に情報発信しています。同時に各事業所では類似した危険がないか点検を行い、類似災害発生を未然に防ぐ仕組みを整えています。今後も、協力会社を含めた従業員に対する安全教育及び訓練を繰り返し行い災害件数の削減対策を進めていきます。

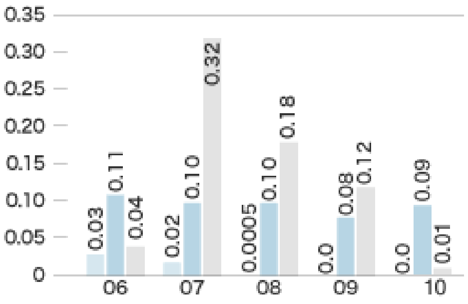
### ◆ 作業内容別災害構成比




### ◆ 労働災害度数率




### ◆ 労働災害強度率




労働災害度数率＝休業災害被災者数／延労働時間数×1,000,000　労働災害強度率＝労働損失日数／延労働時間数×1,000

トステム※1　製造業※2　日本アルミニウム協会※3

※1 対象は下妻、藤花、岩井、土浦、野田、七光台、名張、有明、石下の9工場
※2 厚生労働省労働災害動向調査より
※3 日本アルミニウム協会（アルミニウム関係企業労働災害調査より）

従業員とともに

# 人材育成の仕組み

## 人事の考え方

人事制度の基本的な考え方は、企業家精神をもった社員を育てることと、成果を重視した実力主義の人事を実践することです。人材配置は、「やりたい人にやりたい仕事をさせること」を第一に考えて行っています。評価は、リスクを恐れないチャレンジ精神を重視し、上司との面談を義務づけ、オープンで公正な評価の仕組みをつくってきました。
実力主義の実践としては、年功序列から脱却して若手社員の登用などを積極的に行っています。
組織の活性化の基本は、能力のある社員がその能力にふさわしい仕事をし、ふさわしい地位に就くという考えです。

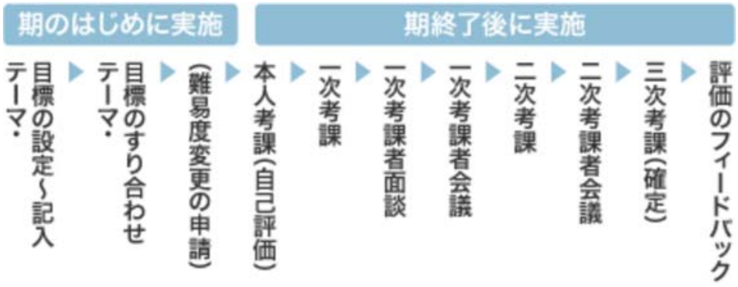
## 社内公募制度

「やりたい人にやりたい仕事を」という考えにより、社員一人ひとりの職務への希望と、会社の組織上の要請を合致させられるよう、制度を整えています。新規事業の立ち上げなど、人材の必要が生じた場合に、社内から広く人材を募る制度です。上司を通さずにすべての社員が自由に応募することができます。

## 人事考課制度

「業績主義人事」を目標に掲げ、仕事とプロセスを公正に評価するために、全従業員を対象に目標設定、評価の各場面で本人が参加し、上司面談を通じて結果のフィードバックを行うなど、オープンな制度運用を行っています。

### ◆ 人事考課のフロー




### ◇ 入社3年目面接

入社3年を経過した時点で、上司、人事担当者との面接を実施し、今後の進路決定と成長目標の確認を行っています。

## 全社の教育制度

各部門での職能別教育と、全社的に行う階層別教育を用意しています。職能別教育では部門別に独自のカリキュラムが組まれていて、高度な専門能力を養成しています。階層別教育ではマネジメント、部下育成、リーダーシップのあり方などのカリキュラムが、資格に応じて体系的に組まれています。2008年度からは特に管理者へのQC研修会をスタートし、若手管理職を対象とした問題解決能力の教育に取り組んでいます。

※ QC（Quality Control）：品質管理の手法。製造部門だけでなく、営業部門、管理部門も含め、従業員が自発的に職場の管理や改善を検討し、品質改善、問題解決につなげていく活動のこと。

◆ 全社の教育・研修制度(2010年度)

## 営業系社員の教育制度

営業系社員の教育は、実物・実習・実技をモットーに、トータルハウジング産業を担う営業社員の育成を図るため、教育体制を整え、社員が必要なスキルを習得できるように体系的・計画的に行っています。

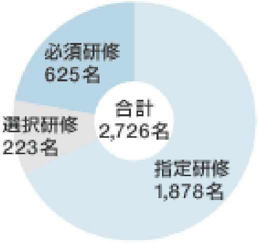
### ◇ 教育制度体制

営業系社員の研修制度は、必須研修、指定研修、選択研修に分かれています。教育システム推進部で選抜する必須研修や、習熟レベルや経験に応じて対象者を指定する指定研修、また自主的に個人のスキルを高めたい社員に対しては実践的な選択研修のプログラムも受講する事ができ、社員一人ひとりのレベルにあわせて必要なスキルが習得できるようなプログラムをそろえています。2010年度については、4年ぶりに新入社員を採用したことにより、研修体系を変更し、必須研修の充実及び、指定研修・選択研修の内容改善を行いました。

### ◆ 社員研修　受講者数（暦年）

| | 社員研修 |
|---|---|
| 2006 | 3,052名 |
| 2007 | 3,291名 |
| 2008 | 2,694名 |
| 2009 | 1,892名 |
| 2010 | 2,726名 |

### ◆ 社員研修の内訳（2010年）




### ◇ 教育環境の整備

各研修プログラムを行う施設として、東京都葛飾区、福島県須賀川市、大阪市住之江区の3拠点に研修センターがあり、知識や実務技術を兼ね備えた専門トレーナーが教育を行っています。すべての研修センターには、実際の商品を使って、施工方法や商品の納まりなどを学ぶ事のできる住宅モデルが準備されており、座学では学ぶことができない現場の実技スキルを習得することができます。

▼総合技術研修センター
▲葛飾研修センター
▲大阪研修センター

## 技術系社員の教育制度

技術系社員の教育は座学や一般教育だけではなく、社員が現場ですぐに使える知識の修得を目指して多様な教育機会を用意して計画的に推進しています。また、現場のニーズをヒアリングして、必要な階層へ必要な時期に適した教育を行うプログラムを企画しています。

### ◆ 技術系社員への教育プログラム

#### 1）管理技術教育

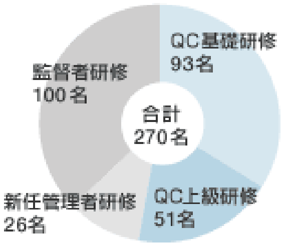
管理技術教育では、問題解決、時間管理、生産管理など、生産現場で仕事を進める中で必要な管理技術を習得します。

問題解決技術では、基礎コース・上級コースの標準プログラムのほか、新任の管理者に対する特別プログラムもあり、各社員に必要なレベルにあわせた技術を習得することができます。現在、この教育は技術系社員だけでなく、本社管理部門やグループ会社まで教育範囲を広げ、2010年度に約550名が参加し、延べ5,600名が受講しました。

### ◇ 問題解決技術の教育プログラム（2010年度）

| 教育プログラム | 内容 |
|---|---|
| QC的問題解決教育（基礎／上級） | 仕事を進める中で問題を解決するための仕事の進め方、考え方、解決方法などを、基礎/上級の2つのコースに分けて習得します。 |
| 新任管理者研修 | 新しく管理職となる社員に対して、リーダーとしての仕事の進め方,考え方など、先輩管理職がこれまでの培ってきた管理者としての知識やノウハウを習得します。 |
| 監督者教育 | 工場の製造ラインでライン長となる社員に対して、管理監督者としての知識を習得とともに作業環境の労働安全などの知識も教育します。 |

### ◆ 教育プログラム　受講者数内訳（2010年度）




#### 2）専門技術教育

専門技術教育では、法的資格の教育をはじめ、アルミ関連商品の製造工場で必要なアルミの材料技術や加工技術、工場の設備や機械の管理技術や保全技術など、各現場で必要な専門技術を習得します。

また、専門技術教育の各プログラムで習得した技術を現場の仕事で活用し、より成果をあげた優秀な取り組みに対して表彰する制度もあり、社員の意識向上につなげています。

環境マネジメント

# 2010年度の環境活動実績

商品のライフサイクルには、資源やエネルギーを消費し、$CO_2$・有害化学物質・廃棄物を排出するという、環境に対する「マイナス側面」があります。

その一方で、断熱性能の高い商品は使用段階において省エネルギー効果をもたらし、建築物の長寿命化を促進する仕組みは省資源や廃棄物排出抑制につながるなど、環境に対する「プラス側面」もあります。

商品のライフサイクルの各プロセスで、この「マイナス側面の抑制」と「プラス側面の向上」に取り組んでいます。

## 2010年度の環境活動実績

| 目的 | 取り組み項目 | 指標 | 単位 | 2010年度 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 目標 | 実績 | 評価 |
| 1. 商品のライフサイクル$CO_2$の削減に取り組み、「低炭素社会」の構築に貢献する | 1）環境配慮型商品を創出・普及する | エコ商品売上高比率 | % | 80 | 82.6 | ○ |
| | 2）断熱商材の創出・普及を通じて、住まいの$CO_2$排出量を削減する | $CO_2$削減量 | 千ton | 39.7 | 46.6 | ○ |
| | 3）事業活動に伴う$CO_2$排出量を削減する | $CO_2$排出量 | 千ton | 291 | 325.8 | × |
| | 4）アルミ原材料に占めるリサイクル材の比率を高める | $CO_2$排出量原単位 | t-$CO_2$/t-AL | 9.6 | 9.7 | △ |
| | 5）商品の輸送に伴う$CO_2$排出量を削減する | $CO_2$排出量原単位 | 千ton/出庫高 | 18.3 | 17.7 | ○ |
| 2. 事業活動全般においてリサイクルに取り組み、「資源循環型社会」の構築に貢献する | 1）事業活動に伴う廃棄物排出量の削減とリサイクルを図る | 廃棄物排出量 | 千ton | 31.7 | 30.6 | ○ |
| | | 再資源化率 | % | 94 | 88.2 | ○ |
| | 2）解体・リサイクル性の高い商品をつくる | 計画進捗 | — | ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ運用 | ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ運用 | ○ |
| | 3）リフォーム事業に伴う施工廃材をリサイクルする | 再資源化率 | % | 97 | 98.8 | ○ |
| 3. 生物多様性の保全と持続可能な利用を促進し、「自然共生社会」の構築に貢献する | 1）事業活動に伴う有害化学物質の排出量を削減する | PRTR物質排出・移動量 | ton | 455.5 | 405.4 | ○ |
| | 2）特定化学物質を含有しない商品をつくる | 計画進捗 | — | 資材含有管理 | 資材含有管理 | ○ |
| | 3）森林生態系に配慮した持続可能な木材資源を利用する | 計画進捗 | — | CoC認証登録 | 2011/6認証 | ○ |
| | 4）『いのちの森づくり』を通じて地域社会と共生する | 植樹祭開催件数 | 件 | 2 | 1 | × |

# 環境リスク管理

2002年に施行された「土壌汚染対策法」を受け、自社の所有する土壌の汚染状況を把握し、人体への健康被害を防止するために、対象事業所に調査を実施しています。

さらに法律対象外の工場に対しても、自主的に当社独自の基準を設け、2002年度から調査を実施して、土壌汚染リスクの管理に努めています。

## 対象事業所と調査方法

対象となる事業所を3段階のリスクレベルに分け（表1）、レベルの高いものから順に調査を実施しています。調査方法についてはISO14015：2001（環境マネジメント-用地及び組織の環境アセスメント）にのっとった自主的な取り組みとして、自社独自の土壌汚染管理規定に従い手順等を明確にしています（表2）。

### ◆ 土壌汚染リスクレベル分類（表1）

| リスクレベル | 区分 | 内容 |
|---|---|---|
| 高<br>↕<br>低 | 第1段階 | 2003年2月14日以前に操業停止し用途変更が予定されている |
| | 第2段階 | 特定施設を有する、または有していた工場で、特定化学物質を取り扱った実績がある |
| | | PRTR法届出対象工場 |
| | 第3段階 | PRTR法届出対象外ではあるが使用実績がある |

### ◆ 土壌汚染調査ステップ（表2）

| | | |
|---|---|---|
| 第1次調査 | 1. 聞き取り調査 | 土地の利用履歴、特定物質の有無と使用場所、焼却炉や過去の埋設物を確認し、土壌調査計画を作成 |
| | 2. 簡易調査 | 対象区域を特定し、土壌ガスおよび土壌調査を実施 |
| 第2次調査 | 3. 詳細調査 | 簡易調査で土壌ガスが検出された場合は、再調査のうえボーリング調査を実施。土壌調査については、鉛直方向のボーリング調査で汚染分布を確認し、継続監視が可能なように観測井を設置。汚染が確認され浄化措置が必要な場合は行政に報告。 |
| | 4. 浄化措置 | 浄化措置については、行政に指導を仰ぎながら対応 |

## 調査結果

対象全57事業所について第1次調査を行った結果、31事業所で汚染の可能性があることが分かりました。これらの事業所に対しては、聞き取り調査で得た有機溶剤の使用場所や廃棄物の過去の埋設状況および簡易調査の結果をもとに詳細調査を順次実施して、それぞれ汚染の有無およびエリアの特定をしました。
詳細調査の結果、18事業所で土壌の汚染が発見されましたが、いずれも敷地外への影響はありませんでした。そのうち9事業所については、2008年度までに浄化措置を完了しています。
残る9事業所については、汚染物質の拡散が認められない為、今後、継続監視し、計画的に浄化を行なう予定です。
また2009年度は、57事業所の内2009年度に閉鎖となった6事業所について、土壌汚染対策防止法に基づき再調査を行ないました。再調査の結果、汚染が確認された事業所については、適切に浄化を行ない行政機関へ報告しております。
（2010年度は閉鎖事業所はございません）

▲ボーリング機による土壌採取作業

▲バイオ浄化処理剤の注入作業

# 環境教育・モチベーションアップ

## 環境教育

環境保全活動は、社員一人ひとりの意識が大切です。継続的な活動を支える人材を育成するため、基礎教育・業務教育・管理教育などの教育プログラムを実施しています。

◆ 2010年度 環境教育プログラム

| | |
|---|---|
| 基礎教育 | ■ 環境一般基礎教育<br>■ 協力会社教育 |
| 業務教育 | ■ 法的資格者養成教育<br>■ 環境マネジメントシステム運営管理教育<br>■ 内部監査員／主任内部監査員養成教育 |
| 管理教育 | ■ 環境設備取り扱い教育 |

## モチベーションアップ

◆ トステム緑のカーテンプロジェクト

2009年度から、事業所の省エネ活動・従業員のモチベーションアップを目的として「トステム緑のカーテンプロジェクト」を開始しました。「緑のカーテン」とは、夏にゴーヤ、アサガオ、ヘチマなどツル性の植物を建物の窓や外壁に沿って生育させ、太陽の日射熱を遮り、室内の温度上昇を抑制して冷暖房効率のアップを図る取り組みです。2年目となる2010年度は、大和工場、土浦工場、宇都宮ショールーム、津ショールームなどが参加しました。

◆ 従業員環境コンテスト

環境コンテストは、従業員の環境意識向上を狙いとして例年実施しています。2010年度は従業員に家族や仲間で身近なエコを考えるコミュニケーションのきっかけとなるように「苦しいエコ」と「うれしいエコ」大募集と名付けてエコアイディアの募集を行ないました。第1弾の「苦しいエコ」では、なかなか続けられないエコな悩みを募集したところ、「シンクが狭くて、食器洗い中に 水を出しっぱなしにしてしまう！」「車で走る時にクーラーをせずに窓全開で走ると虫が入ってきてしまう！」などが寄せられ、第2弾の「うれしいエコ」では、その悩みに対して実用的なものからユーモアのある様々なアイディアが寄せられました。

▲「従業員環境コンテスト」参加募集ポスター

## ◆ 第17回 EF（エコファクトリー）大会開催

EF（エコ・ファクトリー）大会では全国の工場で1年間取り組んできた環境活動の成果を報告しています。環境管理活動の更なる質の向上を目的に、毎年実施しています。本大会は今年で17年目を迎え、2010年度の成果として29テーマがノミネートされ選抜された7グループが発表を行いました。最優秀賞には久居工場の「エネルギーコスト削減活動」が選ばれました。

## ◆ 環境への取り組みカード配布

「私たちの環境への取り組み」カードを発行して従業員全員に配布しています。このカードには全ての従業員がそれぞれの仕事(本業)の中で何を行なえば環境配慮に繋がるのか、分かりやすく記しています。

## ◆ 社内報「エコ通信」をメール配信

2007年度より、社内の従業員を主な対象として「エコ通信」を配信しています。社内での環境への取り組みや、最新のエコ情報などを掲載し、更に従業員のエコへの関心を高め、事業活動の中でエコに積極的に取り組める社員づくりを目指しています。

▲「TOSTEM×エコ通信」

# 環境会計

## 環境会計の目的

環境会計は数値化された環境情報を経営層に提供し適切な改善策の企画と実施を行なうとともに、外部とのコミュニケーションのツールとして活用することを目的としています。
2004年度8月より環境会計システムが稼動スタートし、各拠点ごとにの環境会計データを月次管理しています。

## 環境会計実績

- 環境保全コスト：25億円（設備投資額0.4億円、減価償却費2.9億円、経費21.7億円）
- 経済効果金額：76億8千万円

## 2010年度環境会計結果の分析

環境保全に伴う経済効果は、アルミインゴットと市中スクラップの差額計上分が前年に比べて大幅に増加している一方、有価物の売却活動によるリサイクル収入金額は総じて減少しています。

その他、グループ全体でECO活動を実施し、廃棄物の減量化、処理およびリサイクル活動を積極的に実施した結果、資源循環コストは大きく増加しました。

## 2010年度環境会計の結果

◆ 環境保全コスト（単位：百万円）

| 環境保全コストの分類 | | 2009年度 設備投資 | 2009年度 減価償却費 | 2009年度 経費 | 2009年度 合計 | 2010年度 設備投資 | 2010年度 減価償却費 | 2010年度 経費 | 2010年度 合計 | 主な内容 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| １）事業エリア内コスト | | 20 | 328 | 1,136 | 1,484 | 31 | 285 | 1,779 | 2,096 | 主たる事業活動により事業エリア内で生じる環境負荷を抑制するための環境保全コスト |
| 内訳 | 1.公害防止コスト | 13 | 166 | 336 | 516 | 11 | 163 | 312 | 486 | 公害（大気、水質、土壌、騒音、振動、地盤沈下など）防止のために必要な投資および経費 |
| 内訳 | 2.地球環境保全コスト | 6 | 124 | 96 | 225 | 20 | 89 | 115 | 225 | 温室効果ガスの排出抑制、省エネルギーなど地球温暖化防止のために必要な投資および経費 |
| 内訳 | 3.資源循環コスト | 1 | 38 | 704 | 743 | 0 | 32 | 1,352 | 1,385 | 事業エリアから出る廃棄物の減量化、処理およびリサイクルのために必要な投資および経費 |
| ２）上・下流コスト | | 0 | 0 | 65 | 65 | 0 | 0 | 70 | 70 | グリーン購入など事業エリアの上流側で発生する環境負荷の抑制、および会社が販売した製品、容器包装などの使用・消費・廃棄などに伴い事業エリアの下流側で発生する環境負荷を抑制するために必要な経費 |
| ３）管理活動コスト | | 0 | 0 | 235 | 235 | 1 | 0 | 239 | 240 | 環境マネジメントシステムの構築、運用、認証取得のための経費、および環境に関する社員への教育・啓発に必要な経費 |
| ４）研究開発コスト | | 0 | 3 | 51 | 54 | 12 | 6 | 59 | 76 | 環境保全に係わる製品の研究開発、製品の製造段階、物流段階及び販売段階における環境負荷抑制のための研究開発に必要な投資及び経費 |
| ５）社会活動コスト | | 0 | 0 | 7 | 7 | 0 | 0 | 18 | 18 | 自然保護、緑化などの環境改善対策のための経費、環境保全を行う団体、地域住民の行う環境活動などへの寄付、支援、情報提供などの社会的取組のための経費、環境情報の公表のための経費 |
| ６）環境損傷コスト | | 0 | 0 | 8 | 8 | 0 | 0 | 6 | 6 | 汚染負荷量賦課金、土壌汚染調査費など |

| 合計 | 20 | 330 | 1,501 | 1,852 | 44 | 291 | 2,171 | 2,506 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

※ 小数点第1位を四捨五入しているため、合計表示値と一致しない場合があります。

## ◆ 環境保全効果

**環境保全対策にともなう経済効果（単位：百万円）**

| | 2009年度 | 2010年度 |
|---|---|---|
| 1. 省エネによる費用削減等（電力料・燃料費・上下水道料等の節減額） | 713 | 617 |
| 2. リサイクルにより得られた収入（有価物売却益） | 796 | 321 |
| 3. リサイクルによる消耗材料費削減額等 | 909 | 1,098 |
| 合計 | 2,419 | 2,036 |

**環境負荷削減量（$CO_2$換算）（単位：t-$CO_2$）**

| | 2009年度 | | 2010年度 | |
|---|---|---|---|---|
| | 環境負荷削減量 | 削減率 | 環境負荷削減量 | 削減率 |
| $CO_2$ | 11,441 | 6.2% | 9,666 | 4.9% |

**〈参考情報〉環境負荷削減量（$CO_2$換算）の金額換算（単位：百万円）**

| | 2009年度 | 2010年度 |
|---|---|---|
| 金額換算 | 17 | 14 |

## ◆ エネルギー使用量内訳

| | 2009年度 | 2010年度 |
|---|---|---|
| 電力 | 231,654MWh | 251,339MWh |
| A重油（低硫黄） | 4,638kl | 5,630kl |
| 灯油 | 755kl | 865kl |
| LPG | 1,924t | 2,300t |
| LNG | 31,601千$m^3$ | 30,960千$m^3$ |
| 環境負荷総量（$CO_2$換算） | 174,407t-$CO_2$ | 187,675t-$CO_2$ |

**〈参考情報〉エネルギー・水資源使用量内訳**

| | 2009年度 | 2010年度 |
|---|---|---|
| ガソリン | 693kl | 827kl |
| 軽油 | 743kl | 684kl |
| 水（生産用） | 3,624,139$m^3$ | 3,954,177$m^3$ |
| 水（その他） | 643,914$m^3$ | 520,412$m^3$ |
| 営業部門　電気 | 19,451MWh | 21,775MWh |
| 環境負荷総量（$CO_2$換算） | 10,910t-$CO_2$ | 11,947t-$CO_2$ |

## 算出条件

○ 集計範囲：国内22工場、8物流センター、7工事支店、資材部門、研究開発部門、管理部門

○ 集計期間：2010年4月1日～2011年3月31日

○ 集計方法：

1. 環境設備投資の集計範囲：環境負荷を低減する目的で当期に取得した設備、機械などの償却資産の当期取得価額を集計しています。
2. 費用は発生主義で計上しています。
3. 環境損傷コストの汚染負荷量賦課金は公害健康被害補償予防協会に対する一般的な納付金です。
4. 環境保全効果は、環境保全対策が実施されなかった場合と比較した削減量を$CO_2$換算値で計上しています。
5. 2003年度からアルミインゴットを購入する際の金額を市中スクラップに置き換えた差額を経済効果として計上しています。
6. 環境保全対策に伴う経済効果には推定計算を含むみなし効果は含めておりません。

# 商品づくりの取り組み

## 商品開発における環境設計指針

環境配慮型商品の開発のために、HL設計、3R設計、PF設計といった3つの環境設計指針を定めています。

### 高性能・長寿命を目指すHL設計 [ HL＝High performance-Long life ]

**高機能：** 省エネルギーのための性能追求や、自然エネルギーの有効利用をすること

**長寿命：** 長く使うために耐久性・メンテナンス性を向上させること

### 資源をムダにしない3R設計 [ 3R＝Reduce・Reuse・Recycle ]

**リデュース：** 原材料や生産エネルギー、商品使用時の消費エネルギーなどを削減すること

**リユース：** 商品や部品を再使用すること

**リサイクル：** 原料として再利用するために分解・分別性向上や再資源化しやすい材料を使うこと

### 安全な原材料を選ぶPF設計 [ PF＝Pollutants Free ]

**有害物質の削減：** 生産時や使用時、廃棄時に、人の健康や環境に負担がかかるフロンやVOCなどを削減すること

**処理リスクの削減：** 安全で安心な商品を提供するため、難処分物質の使用を削減すること

[ INDEX ]


| | |
|---|---|
| 商品アセスメント・LCA | 商品アセスメントの実施／商品エコラベルの表示 |
| 環境配慮型商品 | 「サーモスH/サーモスS」「インプラス」「ハーモニアスライト12E」 |

商品づくりの取り組み

# 商品アセスメント・LCA

## 商品アセスメント・LCAの実施

商品の企画段階から設計･試作まで、環境設計指針に基づいた商品づくりが進められているかどうかを評価する｢商品アセスメント｣を新商品に対して実施しています。
評価の過程ではLCA評価も組み込み、商品のライフサイクルにおける環境負荷を定量評価しています。
また、LCA評価研究として、｢産業技術総合研究所LCA研究センター｣が開発した被害算定型環境影響評価手法｢LIME2｣を用いた定量評価なども実施しています。

◇ 商品アセスメントの流れ

## 商品エコラベルの表示

商品アセスメントの総合評価が一定の基準を満足した新商品は、環境配慮型商品と位置づけられ、「商品エコラベル」の表示を行っています。この制度は、自社基準･自己宣言型の「タイプII環境ラベル」に相当し、ISO14021（自己宣言による環境主張）に準じています。

### ◇ 商品エコラベルの例

## 環境配慮型商品

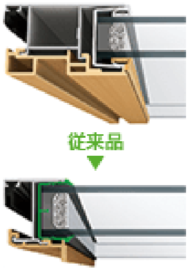
### 次世代スタンダードウインドウ「サーモスH/サーモスS」

ライフスタイルの違いを超えてあらゆる人に必要な基本性能を徹底追求。住まい全体の快適性を向上させる窓です。

商品ページへ

#### 高断熱

框と複層ガラスの一体化を実現した、画期的な新構造技術「スマートシナジーシステム」による框の極小化と、サッシ枠のラインと障子をあわせる「フレームイン構造」によるガラス面の最大化で、断熱性能が大幅に向上しています。



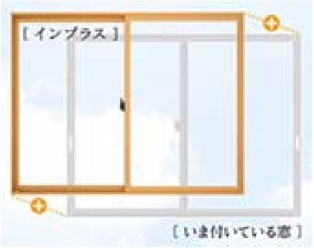

#### 省資源

必要な性能を確保しながら部材のスリム化や部品の削減など材料の省資源化をはかっています。

### 防音・断熱内窓「インプラス」

今ある窓につけるだけで、断熱・遮熱効果がアップ。さらに結露もおさえてすっきり快適に。防音効果もプラスされます。

商品ページへ



HL

### 高断熱

インプラスを今ある窓の室内側に取り付けることで、今ある窓との間に空気層が生まれ、高い断熱効果を生み出します。

HL

### リフォーム対応

今ある窓の内側に窓枠を取り付けるだけだから、窓あたり約1時間で工事は完了。外壁や柱に手を加えるような大がかりな工事も必要がありません。

HL

### 易清掃

静電気の帯電を防止する特殊な樹脂を採用することで、ホコリを寄せ付けずお手入れが簡単です。

ダスト
バリア

## 環境配慮型床材「ハーモニアスライト12E」

早生植林木であるファルカータと、合法的に伐採されたラワンを組み合わせた「植林木複合合板」を基材として使用。森林生態系保全に配慮した床材です。

環境配慮型商品
eco
HL 高耐久
3R 森林保全
PF 低VOC

商品ページへ

HL

### 高断熱

表面材はすりキズや汚れがつきにくく、日焼けやひび割れがおきにくい防滑ハイパーフィルムを採用しています。表面は特殊処理が施されており、面倒なワックスがけも不要。基材の硬質バッカーは表面密度が高く、へこみキズがつきにくくなっています。

3R

### 森林保全

基材は植林木を利用した合板を使用しています。

PF

### 低VOC

ホルムアルデヒドやトルエンやキシレンなど、室内空気汚染物質の放散を抑制した低VOC仕様です。

---

環境配慮型商品の一覧はこちら

# トステムの環境配慮型商品(2011年7月現在)

「環境配慮型商品」はカタログ等に「商品エコラベル」を表示し、環境面での特長を「環境配慮型商品設計」の3つの視点で説明しています。
→くわしくは『商品づくりの取り組み』をご参照ください。

▸ 商品づくりの取り組み

**環境配慮型商品設計3つの視点**

■ **HL設計** [ HL=High performance-Long life ]
省エネルギーのための性能追求や、自然エネルギーの有効利用、長く使うための高耐久化・メンテナンス性向上を目指します。

■ **3R設計** [ 3R=Reduce・Reuse・Recycle ]
リデュース・リユース・リサイクルといった資源をムダにしない工夫を目指します。

■ **PF設計** [ PF=Pollutants Free ]
生産時や使用時、廃棄時に、人の健康や環境に負担がかかる物質、難処分物質の使用の削減を目指します。

| 部位 | 商品名 | | 環境性能特長 | | 特長説明 |
|---|---|---|---|---|---|
| サッシ | サーモスH/サーモスS 商品を見る | | HL | 高断熱 | 室内側への露出を小さくしたサッシと高断熱複層ガラスの組み合わせにより、暖冷房エネルギーの削減に貢献します。 |
| | | | 3R | 省資源 | 必要な性能を確保しながら、部材のスリム化や部品の削減など、材料の省資源化をはかっています。 |
| | | | PF | — | — |
| | シンフォニーウッディ/マイルド 商品を見る | 引違い窓/装飾窓 ウイング/ドア | HL | 高断熱 | 次世代省エネⅢ地域以南(複層ガラスA12使用時)に適合しています。 |
| | | | 3R | 易解体 | アルミ樹脂複合形材は嵌合+ねじ止め構造を採用し、解体性が向上しています。 |
| | | | PF | — | — |
| | | 出窓 | HL | 高断熱 | 次世代省エネⅢ地域以南(複層ガラスA12使用時)に適合しています。 |
| | | | 3R | 易解体 | アルミ樹脂複合形材は嵌合+ねじ止め構造を採用し、解体性が向上しています。 |
| | | | PF | ノンフロン | 屋根の発泡ウレタンにはフロンガス(特定フロンガスおよび代替フロンガス)を含んでおりません。 |
| | デュオPG 商品を見る | 引違い窓/装飾窓 ウイング/ドア | HL | 断熱・防露 | 複層ガラスA6使用時は次世代省エネルギー基準Ⅳ地域に適合し、さらに性能の良い複層ガラスA12の使用も可能です。<br>樹脂アングルが結露の発生を抑え、躯体・額縁などとの接触部の劣化を抑えます。 |
| | | | 3R | — | — |
| | | | PF | — | — |
| | | 出窓 | HL | 断熱・防露 | 複層ガラスA6使用時は次世代省エネルギー基準Ⅳ地域に適合し、さらに性能の良い複層ガラスA12の使用も可能です。<br>樹脂アングルが結露の発生を抑え、躯体・額縁などとの接触部の劣化を抑えます。 |
| | | | 3R | — | — |
| | | | PF | ノンフロン | 屋根の発泡ウレタンにはフロンガス(特定フロンガスおよび代替フロンガス)を含んでおりません。 |
| | オープンウィン 商品を見る | シンフォニータイプ | HL | 高断熱 | 次世代省エネルギー基準Ⅲ地域以南(複層ガラスA12使用時)に適合しています。 |
| | | | 3R | 易解体 | アルミ樹脂複合形材は嵌合+ねじ止め構造を採用し、解体性が向上しています。 |
| | | | PF | — | — |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | デュオPGタイプ | HL | 断熱・防露 | 次世代省エネルギー基準Ⅳ地域以南に適合しています。<br>樹脂アングルが結露の発生を抑え、躯体・額縁などとの接触部の劣化を抑えます。 |
| | | 3R | ― | ― |
| | | PF | ― | ― |
| ワイドウィン<br>商品を見る | | HL | 高断熱 | 次世代省エネルギー基準Ⅲ地域以南に適合しています。 |
| | | | 防露 | 樹脂アングルが結露の発生を抑え、躯体・額縁などとの接触部の劣化を抑えます。 |
| | | | 採光 | 開口が大きくスリムなデザインですので、自然の光をたくさん採り込むことができます。 |
| | | 3R | ― | ― |
| | | PF | ― | ― |
| シンプルアートEX<br>商品を見る | | HL | 高断熱 | 次世代省エネルギー基準Ⅰ地域以南に適合しています。 |
| | | 3R | ― | ― |
| | | PF | ― | ― |
| シンプルアートⅡ<br>商品を見る | | HL | 高断熱 | 次世代省エネルギー基準Ⅲ地域以南（複層ガラスA12使用時）に適合しています。 |
| | | 3R | 易解体 | アルミ樹脂複合形材は嵌合＋ねじ止め構造を採用し解体性が向上しています。 |
| | | PF | ― | ― |
| マイスターⅡ<br>商品を見る | | HL | 高断熱 | 次世代省エネルギー基準Ⅰ地域以南に適合しています。 |
| | | 3R | 資源有効利用 | 樹脂形材の一部に再生材を使用しています。 |
| | | PF | ― | ― |
| スカイシアター<br>商品を見る | | HL | 高断熱 | 遮熱高断熱複層ガラスを標準採用とすることで、次世代省エネルギー基準Ⅰ・Ⅱ地域以南に適合しています。 |
| | | | 通風・換気 | 天窓を活用した通風・換気により室内の温まった空気を効率的に排熱できるので、冷房エネルギーの削減につながります。 |
| | | | 採光 | 側面の窓に比べて約3倍の明るさが採り込めます。 |
| | | 3R | ― | ― |
| | | PF | ― | ― |
| インプラス<br>商品を見る | | HL | 高断熱 | 既存の窓の室内側に取付け、最大で次世代省エネルギー基準Ⅰ・Ⅱ地域適合並みの断熱性能を確保することができます。 |
| | | | リフォーム対応 | 既存の住宅にも簡単な工事で短時間に取付けることができます。 |
| | | 3R | ― | ― |
| | | PF | ― | ― |
| 複層ガラス<br>WEBカタログへ | 遮熱高断熱複層ガラス | HL | 高断熱・遮熱 | 2枚のガラスの間の中空層と室外側ガラス内側の日射遮蔽型特殊金属膜の効果により、一般複層ガラスに比べさらに高い断熱効果と遮熱効果を発揮します。 |
| | | 3R | ― | ― |
| | | PF | ― | ― |
| | 高断熱複層ガラス | HL | 高断熱 | 2枚のガラスの間の中空層とガラス内側の特殊金属膜の効果により、一般複層ガラスに比べさらに高い断熱効果を発揮します。 |
| | | 3R | ― | ― |
| | | PF | ― | ― |
| | 一般複層ガラス | HL | 断熱 | 2枚のガラスの間の中空層が室内外の熱の出入りを少なくし、開口部の断熱効果を高めます。 |
| | | 3R | ― | ― |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | PF | — | — |
| シャッター・雨戸 | アリーズ<br>リフォームシャッターアリーズ<br>商品を見る | | HL | 採風・採光 | スラット間に通気孔を設けていますので、閉めた状態での採風・採光が可能です。 |
| | | | 3R | 省施工 | シャッター本体のフレームの剛性を向上させることで施工時の取り扱いが容易になり、施工工数の削減につながります。 |
| | | | PF | — | — |
| | イタリヤ<br>リフォームシャッターイタリヤ<br>商品を見る | | HL | 製品強度向上 | スラットの外れ止め部品を標準装備することで、耐風圧強度が向上しています。 |
| | | | 3R | 省施工 | シャッター本体のフレームの剛性を向上させることで施工時の取り扱いが容易になり、施工工数の削減につながります。 |
| | | | PF | — | — |
| | クワトロ<br>リフォームシャッタークワトロ<br>商品を見る | | HL | 高耐久 | ボックス、スラットともさびに強いアルミを使用しています。 |
| | | | 3R | 省施工 | シャッター本体のフレームの剛性を向上させることで施工時の取り扱いが容易になり、施工工数の削減につながります。 |
| | | | PF | — | — |
| | ガレージシャッタークワトロ<br>商品を見る | | HL | 高耐久 | ボックス、スラットともさびに強いアルミを使用しています。 |
| | | | 3R | 省施工 | シャッター本体のフレームの剛性を向上させることで施工時の取り扱いが容易になり、施工工数の削減につながります。 |
| | | | PF | — | — |
| | 雨戸 | 可動ルーバー雨戸<br>商品を見る | HL | 採風・採光 | ルーバー角度を自由に調節できますのでプライバシーを守りながら採風・採光することができます。 |
| | | | 3R | 省資源 | 必要な強度を確保しながら部材のスリム化、部材・部品の削減により、材料の省資源化をはかっています。 |
| | | | PF | — | — |
| | | Danパネル雨戸<br>WEBカタログへ | HL | 断熱 | 雨戸パネルは断熱材を充填していますので開口部の断熱性を向上させることができます。 |
| | | | 3R | 省資源 | 必要な強度を確保しながら部材のスリム化、部材・部品の削減により、材料の省資源化をはかっています。 |
| | | | PF | ノンフロン | 断熱材は水発泡ウレタンを使用していますので、フロンガス（特定フロンガス及び代替フロンガス）を含んでおりません。 |
| | | 鏡板<br>ルーバー雨戸<br>WEBカタログへ | HL | — | — |
| | | | 3R | 省資源 | 必要な強度を確保しながら部材のスリム化、部材・部品の削減により、材料の省資源化をはかっています。 |
| | | | PF | — | — |
| ひさし | スリムアート | R300・R500<br>商品を見る | HL | 採光 | ルーバー形状とすることで、冬場はより日射を採り入れることができ、照明・暖房エネルギーの削減につながります。 |
| | | | 3R | 省資源 | 必要な強度を確保しながらスリム化することで、材料の省資源化をはかっています。 |
| | | | PF | — | — |
| | | 100・200<br>商品を見る | HL | — | — |
| | | | 3R | 省資源 | 必要な強度を確保しながらスリム化することで、材料の省資源化をはかっています。 |
| | | | PF | — | — |
| | モダンアート<br>WEBカタログへ | | HL | 長寿命 | 照明は消費電力が低く、寿命が長いLED照明を採用しています。 |
| | | | 3R | リサイクル | 主な構成部材には再生が可能なアルミを使用しています。 |
| | | | PF | 六価クロム削減 | アルミ・ステンレスを使用することで、六価クロム削減を図っています。 |
| 玄関 | アヴァントス | | HL | 高断熱 | 次世代省エネルギー基準Ⅰ地域以南に適合しています。 |
| | | | 3R | 資源有効利用 | ドア本体の樹脂芯材の一部に再生材を使用しています。 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ドア・玄関引戸・勝手口引戸 | 商品を見る | | PF | ノンフロン | ドア本体の断熱材は発泡ポリスチレンまたは水発泡ポリウレタンを使用していますので、フロンガス（特定フロンガスおよび代替フロンガス）を含んでおりません。 |
| | アヴァントスIS 商品を見る | k3仕様 | HL | 高断熱 | 次世代省エネルギー基準Ⅲ地域以南に適合しています。 |
| | | | 3R | ― | ― |
| | | | PF | ノンフロン | ドア本体の断熱材は発泡ポリスチレンまたは水発泡ポリウレタンを使用していますので、フロンガス（特定フロンガス及び代替フロンガス）を含んでおりません。 |
| | | k4仕様 | HL | 断熱 | 次世代省エネルギー基準Ⅳ・Ⅴ地域に適合しています。 |
| | | | 3R | ― | ― |
| | | | PF | ノンフロン | ドア本体の断熱材は発泡ポリスチレンまたは水発泡ポリウレタンを使用していますので、フロンガス（特定フロンガス及び代替フロンガス）を含んでおりません。 |
| | グルエ 商品を見る | | HL | 高断熱 | 次世代省エネルギー基準Ⅰ・Ⅱ地域以南に適合しています。 |
| | | | 3R | 省資源 | 部品の削減・共通化により、材料の省資源化をはかっています。 |
| | | | PF | ノンフロン | 断熱材は水発泡ウレタンボードを使用し、フロンガス（特定フロンガスおよび代替フロンガス）を含んでおりません。 |
| | ディクシード 商品を見る | | HL | 高断熱・高耐久 | 次世代省エネルギー基準Ⅰ地域以南に適合しています。<br>衝撃性、耐腐食性に優れたFRPタイプの扉をご用意しています。 |
| | | | 3R | 資源有効利用 | 必要な強度を確保しながら部材のスリム化、部品の削減・共通化により、材料の省資源化をはかっています。 |
| | | | PF | ノンフロン | 断熱材はEPSまたは水発泡ウレタン、シクロペンタン発泡ウレタンを使用していますので、フロンガス（特定フロンガスおよび代替フロンガス）を含んでおりません。 |
| | フォラード 商品を見る | k3仕様 | HL | 高断熱・採風 | 次世代省エネルギー基準Ⅲ地域以南に適合しています。ドアを閉めたまま風を採りこむことが出来る採風タイプをご用意しています。 |
| | | | 3R | 省資源 | 必要な強度を確保しながら部材のスリム化、部材・部品の削減・共通化により、材料の省資源化をはかっています。 |
| | | | PF | ノンフロン | 断熱材はEPSまたは水発泡ウレタンを使用していますので、フロンガス（特定フロンガス及び代替フロンガス）を含んでおりません。 |
| | | k4仕様 | HL | 断熱・採風 | 次世代省エネルギー基準Ⅳ地域以南に適合しています。ドアを閉めたまま風を採りこむことが出来る採風タイプをご用意しています。 |
| | | | 3R | 省資源 | 必要な強度を確保しながら部材のスリム化、部材・部品の削減・共通化により、材料の省資源化をはかっています。 |
| | | | PF | ノンフロン | 断熱材はEPSまたは水発泡ウレタンを使用していますので、フロンガス（特定フロンガス及び代替フロンガス）を 含んでおりません。 |
| | CZ玄関ドア 商品を見る | | HL | 高断熱・採風 | 断熱材を挟み込んだドア本体と熱を伝えにくいサーマルブレイク構造枠の組み合わせにより、暖冷房エネルギーの削減に貢献します。（k4仕様はアルミ枠）ドアを閉めたまま風を採りこむことが出来る採風タイプをご用意しています。 |
| | | | 3R | 省資源 | 必要な強度を確保しながら部材のスリム化、部材・部品の削減・共通化により、材料の省資源化をはかっています。 |
| | | | PF | ノンフロン | ドア本体の断熱材は発泡ポリスチレンまたは水発泡ポリウレタンを使用していますので、フロンガス（特定フロンガスおよび代替フロンガス）を含んでおりません。 |
| | DD（ディー・ディー） 商品を見る | | HL | 高断熱 | 次世代省エネルギー基準Ⅲ地域以南に適合しています。 |
| | | | 3R | 省資源 | 必要な強度を確保しながら部材のスリム化、部材・部品の削減・共通化により、材料の省資源化をはかっています。 |
| | | | PF | ノンフロン | 断熱材はEPSまたは水発泡ウレタンを使用していますので、フロンガス（特定フロンガス及び代替フロンガス）を含んでおりません。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| プレナスX 商品を見る | | HL | 採風 | ドアを閉めたまま風を採りこむことが出来る採風タイプをご用意しています。 |
| | | 3R | 省資源 | 必要な強度を確保しながら部材のスリム化、部材・部品の削減・共通化により、材料の省資源化をはかっています。 |
| | | PF | ― | ― |
| リシェント 商品を見る | k2仕様 k4仕様 | HL | リフォーム対応 | 既存の枠の上から新しい枠をカバーすることで、既存の住宅に取り付けることができます。 |
| | | | 高断熱・採風 | 断熱材を挟み込んだドア本体と熱を伝えにくいサーマルブレイク構造枠の組み合わせにより、暖冷房エネルギーの削減に貢献します。(k4仕様はアルミ枠)<br>ドアを閉めたまま風を採りこむことが出来る採風タイプをご用意しています。 |
| | | 3R | ― | ― |
| | | PF | ノンフロン | 断熱材はEPSまたは水発泡ウレタンを使用していますので、フロンガス(特定フロンガス及び代替フロンガス)を含んでおりません。 |
| | アルミ仕様 | HL | リフォーム対応 | 既存の枠の上から新しい枠をカバーすることで、既存の住宅に取り付けることができます。 |
| | | | 高断熱・採風 | ドアを閉めたまま風を採りこむことが出来る採風タイプをご用意しています。 |
| | | 3R | ― | ― |
| | | PF | ノンフロン | 断熱材はEPSまたは水発泡ウレタンを使用していますので、フロンガス(特定フロンガス及び代替フロンガス)を含んでおりません。 |
| エルムーブ 商品を見る | k3仕様 | HL | 高断熱 | 次世代省エネルギー基準Ⅲ地域以南に適合しています。 |
| | | | 採風 | 扉を閉めたまま風を取り込むことができる採風タイプをご用意しています。 |
| | | 3R | ― | ― |
| | | PF | ノンフロン | 断熱材はEPSまたは水発泡ポリウレタンを使用していますので、フロンガス(特定フロンガス及び代替フロンガス)を含んでおりません。 |
| | k4仕様 | HL | 断熱 | 次世代省エネルギー基準Ⅳ地域以南に適合しています。(一部該当しない機種があります。) |
| | | 3R | ― | ― |
| | | PF | ノンフロン | 断熱材はEPSまたは水発泡ポリウレタンを使用していますので、フロンガス(特定フロンガス及び代替フロンガス)を含んでおりません。 |
| 玄関引戸PGシリーズ 商品を見る | | HL | 断熱 | 次世代省エネルギー基準Ⅳ地域以南に適合しています。(一部該当しない機種があります) |
| | | 3R | 省資源 | 必要な強度を確保しながら部材のスリム化、部材・部品の共通化により、材料の省資源化をはかっています。 |
| | | PF | ノンフロン | 断熱材はEPSまたは水発泡ウレタンを使用していますので、フロンガス(特定フロンガス及び代替フロンガス)を含んでおりません。 |
| 玄関引戸k6シリーズ 商品を見る | | HL | 気密性向上 | 気密部品を改良し、気密性を向上させています。 |
| | | | 製品強度向上 | アルミ重量を増やさずに耐風圧強度を向上させています。 |
| | | 3R | ― | ― |
| | | PF | ― | ― |
| 断熱土間引戸 WEB カタログへ | | HL | 高断熱 | 次世代省エネルギー基準Ⅲ地域以南(複層ガラスA12使用時)に適合しています。 |
| | | 3R | 易解体 | アルミ樹脂複合形材は嵌合+ねじ止め構造を採用し解体性が向上しています。 |
| | | PF | ― | ― |
| ガゼリアN | シンフォニータイプ | HL | 高断熱 | 次世代省エネルギー基準Ⅲ地域以南に適合しています。 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 採風 | 扉を閉めたまま風を採りこむことが出来る採風タイプをご用意しています。 |
| | | | 3R | 易解体 | アルミ樹脂複合形材は嵌合＋ねじ止め構造を採用し、解体性が向上しています。 |
| | | | PF | — | — |
| | | デュオタイプ | HL | 断熱 | 次世代省エネルギー基準Ⅳ地域以南に適合しています。（デュオPGタイプのみ） |
| | | | | 防露 | 樹脂アングルが結露の発生を抑え、躯体・額縁などとの接触部の劣化を抑えます。 |
| | | | | 採風 | 扉を閉めたまま風を採りこむことが出来る採風タイプをご用意しています。 |
| | | | 3R | — | — |
| | | | PF | — | — |
| エクステリア商品 | グレーチングフロア<br>商品を見る | | HL | 通風・採光 | 格子状の床材は下の空間への通風・採光が可能です。 |
| | | | | 高耐久 | FRP製の床材は耐久性・耐候性に優れています。 |
| | | | 3R | — | — |
| | | | PF | — | — |
| | テリオスポートⅡ<br>商品を見る | | HL | 製品強度向上 | 部材の剛性を向上させることで、耐風圧強度が向上しています。 |
| | | | 3R | 省施工 | 部材の一体化や施工部品の改良により、施工工数を削減しています。 |
| | | | | 省資源 | 必要な強度を確保しながら部材・部品を削減・共通化することで、材料の省資源化を図っています。 |
| | | | PF | — | — |
| | パワーアルファ<br>商品を見る | | HL | 製品強度向上 | 部材形状の工夫により耐風圧強度・積雪強度が向上しています。 |
| | | | 3R | 省施工 | 部材の一体化や施工部品の改良により、施工工数を削減しています。 |
| | | | | 省資源 | 必要な強度を確保しながら部材・部品を削減・共通化することで、材料の省資源化を図っています。 |
| | | | PF | — | — |
| | ツインガードⅡ<br>商品を見る | | HL | 省エネルギー | 玄関と風除室との二重構造となるため、冬期は冷気や雪が直接屋内に入らず暖房効果が高まります。 |
| | | | 3R | 省資源 | 必要な強度を確保しながら部材を削減、スリム化することで、材料の省資源化をはかっています |
| | | | PF | — | — |
| | エントランスポーチ<br>商品を見る | | HL | 通風・採光 | 縦格子スクリーンやポリカーボネート屋根を採用していますので、玄関まわりのプライバシーを守りながら、通風・採光が可能です。 |
| | | | | リフォーム対応 | 既存の住宅にも簡単な工事で取り付けることができます。 |
| | | | 3R | — | — |
| | | | PF | — | — |
| | 彩鳥<br>商品を見る | | HL | 日射遮蔽 | 可動式の日除けですので、季節に応じて日差しを遮る、採り入れるなど自由に調整でき、暖冷房効果を高めます。<br>CR型は前枠にロールスクリーンを内蔵していますので、さらに高い日射遮蔽効果が得られます。 |
| | | | 3R | — | — |
| | | | PF | — | — |
| | 彩樹<br>商品を見る | | HL | 日射遮蔽 | 可動式の日除けですので、季節に応じて日差しを遮る、採り入れるなど自由に調整でき、暖冷房効果を高めます。<br>住宅に取り付けない独立タイプですので、設置場所を選ばず日陰空間を作ることができます。 |
| | | | 3R | — | — |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | PF | – | – |
| | コートラインⅡ<br>商品を見る | HL | 通風・採光 | プライバシーを守りながら通風・採光が可能で、さらに採光面積を確保できるクリア格子を用意しています。 |
| | | 3R | – | – |
| | | PF | – | – |
| | コートラインⅡ<br>（エコリルウッド格子）<br>商品を見る | HL | 通風・採光 | プライバシーを守りながら通風・採光が可能で、さらに採光面積を確保できるクリア格子を用意しています。 |
| | | | 高耐久 | 人工木部材は色褪せや腐食が少なく、塗替えの煩わしさ・白蟻被害などの心配がありません。 |
| | | 3R | 資源有効利用 | 人工木部材は建築廃材や木くずなどの廃木材、家庭から出るプラスチック容器などをリサイクルした再生プラスチックを使用しています。 |
| | | PF | – | – |
| | リコステージⅡ<br>商品を見る | HL | 高耐久 | 色褪せや腐食が少なく、塗替えの煩わしさ・白蟻被害などの心配がありません。 |
| | | 3R | 資源有効利用 | 人工木芯層部にリサイクル樹脂を使用しています。 |
| | | PF | – | – |
| | フルフラットフロアⅡ<br>商品を見る | HL | 高耐久 | 高さ調整機能付き補助台は施工のばらつきを抑えるとともに、床板を長期的に安定して保持します。 |
| | | 3R | 省施工 | 大引き構造を採用していますので、施工が簡単で短工期化につながります。 |
| | | | 省資源 | 幅調整部材を用意し、現場端材を少なくしています。 |
| | | PF | – | – |
| | エックスステージ<br>商品を見る | HL | – | – |
| | | 3R | 省施工 | 部材の一体化や施工部品の改良により、施工工数を削減しています。 |
| | | | 省資源 | 必要な強度を確保しながら部材・部品を削減・共通化することで、材料の省資源化をはかっています。 |
| | | PF | – | – |
| | ほせるんですⅡ<br>商品を見る | HL | 高耐久 | – |
| | | 3R | 省施工 | 部材の一体化や施工部品の改良により、施工工数を削減しています。 |
| | | | 省資源 | 必要な強度を確保しながら部材・部品を削減・共通化することで、材料の省資源化を図っています。 |
| | | PF | – | – |
| | ライザーテラスⅡ<br>商品を見る | HL | 高耐久 | – |
| | | 3R | 省施工 | 部材の一体化や施工部品の改良により、施工工数を削減しています。 |
| | | | 省資源 | 必要な強度を確保しながら部材・部品を削減・共通化することで、材料の省資源化を図っています。 |
| | | PF | – | – |
| インテリア建材 | グランドライン<br>商品を見る ／ ラフィス | HL | – | – |
| | | 3R | – | – |
| | | PF | 低VOC | ホルムアルデヒドやトルエン、キシレンなど、室内空気汚染物質の放散を抑制した低VOC仕様です。 |
| | グランドライン ／ クラシックモダン | HL | 易清掃 | 表面材は耐久性に優れ、お手入れも簡単です。 |
| | | 3R | – | – |
| | | PF | 低VOC | ホルムアルデヒドやトルエン、キシレンなど、室内空気汚染物質の放散を抑制した低VOC仕様です。 |
| | ウッディーライン | HL | 易清掃 | 表面材は耐久性に優れ、お手入れも簡単です。 |
| | | 3R | – | – |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 商品を見る | PF | 低VOC | ホルムアルデヒドやトルエン、キシレンなど、室内空気汚染物質の放散を抑制した低VOC仕様です。 |
| ファミリーライン 商品を見る | HL | 易清掃 | 表面材は耐久性に優れ、お手入れも簡単です。 |
| | 3R | — | — |
| | PF | 低VOC | ホルムアルデヒドやトルエン、キシレンなど、室内空気汚染物質の放散を抑制した低VOC仕様です。 |
| 新和風 商品を見る | HL | 易清掃 | 表面材は耐久性に優れ、お手入れも簡単です。 |
| | 3R | — | — |
| | PF | 低VOC | ホルムアルデヒドやトルエン、キシレンなど、室内空気汚染物質の放散を抑制した低VOC仕様です。 |
| ハーモニアス12 ハーモニアスライト12 商品を見る | HL | 易清掃 | 表面材は耐久性に優れ、お手入れも簡単です。 |
| | 3R | — | — |
| | PF | 低VOC | ホルムアルデヒドやトルエン、キシレンなど、室内空気汚染物質の放散を抑制した低VOC仕様です。 |
| ハーモニアスライト12E 商品を見る | HL | 高耐久 | 表面材は耐久性にすぐれお手入れも簡単です。 |
| | | | 基材は耐衝撃性に優れ、キャスター跡などのヘコミを低減します。 |
| | 3R | 森林保全 | 基材は植林木を利用した合板を使用しています。 |
| | PF | 低VOC | ホルムアルデヒドやトルエン、キシレンなど、室内空気汚染物質の放散を抑制した低VOC仕様です。 |
| エコハード12 商品を見る | HL | 高耐久 | 表面材は耐久性にすぐれお手入れも簡単です。<br>基材は耐衝撃性に優れ、キャスター跡などのヘコミを低減します。 |
| | 3R | 森林保全 | 基材は建築廃材を再利用した硬質リサイクルボードを使用しています。 |
| | PF | 低VOC | ホルムアルデヒドやトルエン、キシレンなど、室内空気汚染物質の放散を抑制した低VOC仕様です。 |
| ファインティア12 ファインティアハード12 商品を見る | HL | 高耐久 | 耐久性の高い塗料を使用することで、従来品に比べ傷がつきにくくなっています。 |
| | | | 基材は耐衝撃性に優れ、キャスター跡などのヘコミを低減します。 |
| | 3R | — | — |
| | PF | 低VOC | ホルムアルデヒドやトルエン、キシレンなど、室内空気汚染物質の放散を抑制した低VOC仕様です。 |
| DS窓枠／造作材 商品を見る | HL | — | — |
| | 3R | — | — |
| | PF | 低VOC | ホルムアルデヒドやトルエン、キシレンなど、室内空気汚染物質の放散を抑制した低VOC仕様です。 |
| タスボックス 商品を見る | HL | 易清掃 | 表面材は汚れにくくお手入れも簡単です。 |
| | 3R | — | — |
| | PF | 低VOC | ホルムアルデヒドやトルエン、キシレンなど、室内空気汚染物質の放散を抑制した低VOC仕様です。 |
| システム収納 商品を見る ボックスタイプ シェルフタイプ パネルタイプ | HL | — | — |
| | 3R | — | — |
| | PF | 低VOC | ホルムアルデヒドやトルエン、キシレンなど、室内空気汚染物質の放散を抑制した低VOC仕様です。 |
| システム収納 フレームタイプ | HL | 易清掃 | 表面材は耐久性に優れ、お手入れも簡単です。 |
| | 3R | — | — |
| | PF | 低VOC | ホルムアルデヒドやトルエン、キシレンなど、室内空気汚染物質の放散を抑制した低VOC仕様です。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | モイスNT内装建材<br>商品を見る | HL | 空気環境改善 | 部屋の調湿機能にすぐれています。またVOCを吸着・分解し、不快な臭いも軽減します。 |
| | | 3R | 省施工 | ボード捨て貼り不要のため、少ない施工工数で調湿壁が仕上がります。 |
| | | PF | 天然素材 | 天然素材を主成分とし、VOC13物質を含みません。また土に還るリサイクル素材です。 |
| | モイスTM<br>商品を見る | HL | 空気環境改善 | 素材はVOCを吸着・固定化するとともに、湿度を調整します。 |
| | | 3R | 省施工 | 意匠性・加工性に富み、内装仕上げが不要です。 |
| | | PF | 天然素材 | 天然素材を主成分としていますので、VOC13物質を含まず、また使用後は土に還すことができます。 |
| キッチン | ヴィート ワンSK<br>商品を見る | HL | 易清掃 | ピュアクリーン加工されたキャビネット・キッチンパネルは、油分などの汚れがついても簡単に拭き取ることができます。 |
| | | 3R | 節水 | 節水効果が高い微細シャワータイプのハンドシャワー水栓をご用意しています。 |
| | | PF | 低VOC | ホルムアルデヒドやトルエン、キシレンなど、室内空気汚染物質の放散を抑制した低VOC仕様です。 |
| | パッとりくん<br>商品を見る | HL | リフォーム対応 | 既存の住宅にも大掛かりな工事を必要とせずに取り付けることができ、より快適な暮らしを実現します。 |
| | | | 易清掃 | ピュアクリーン加工されたキャビネット・キッチンパネルは、油分などの汚れがついても簡単に拭き取ることができます。 |
| | | 3R | – | – |
| | | PF | 低VOC | ホルムアルデヒドやトルエン、キシレンなど、室内空気汚染物質の放散を抑制した低VOC仕様です。 |
| | トパーズ | HL | 長寿命 | ライフスタイルの変化に合わせて、開き扉から引出しへの交換などが容易にできるので、長くお使いいただくことができます。 |
| | | 3R | 梱包減容化 | 梱包容積の削減により輸送時の積載効率が向上し、$CO_2$排出量の削減につながります。 |
| | | PF | 低VOC | ホルムアルデヒドやトルエン、キシレンなど、室内空気汚染物質の放散を抑制した低VOC仕様です。 |
| 洗面化粧台 | ヴィートワンSS Sタイプ<br>商品を見る | HL | 易清掃 | 髪の毛が絡みにくい排水ヘアキャッチャーを使用していますので、従来のヘアキャッチャーに比べてお手入れ時間を約半分にできお掃除の手間を軽減できます。 |
| | | 3R | – | – |
| | | PF | 低VOC | ホルムアルデヒドやトルエン、キシレンなど、室内空気汚染物質の放散を抑制した低VOC仕様です。 |
| | ヴィートワンSS Bタイプ<br>商品を見る | HL | 易清掃 | 髪の毛が絡みにくい排水ヘアキャッチャーを使用していますので、従来のヘアキャッチャーに比べてお手入れ時間を約半分にできお掃除の手間を軽減できます。 |
| | | 3R | 省エネ | 3面鏡および1面鏡は中央鏡表面にくもり止めコート加工を施していますので、従来のヒータータイプに比べ電力を消費せず湯気によるくもりを防ぎます。 |
| | | PF | 低VOC | ホルムアルデヒドやトルエン、キシレンなど、室内空気汚染物質の放散を抑制した低VOC仕様です。 |
| 屋根・構造体・構造 | T・ルーフ<br>アンバサダー<br>商品を見る | HL | 遮熱 | 屋根材と野地板の間の空気層により、屋根面の熱が小屋裏へ直接伝わるのを軽減します。 |
| | | | 通気・換気 | 野地面の通気と小屋裏換気が可能なため、躯体内結露の抑制など躯体の長寿命化につながります。 |
| | | | 高耐久 | 色あせが少なく耐久性が高いため、メンテナンスが不要で永くお使いいただけます。 |
| | | 3R | – | – |
| | | PF | – | – |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 体部材・その他 | 高性能スーパーウォール・パネル 商品を見る | | HL | 高断熱・高気密 | 次世代省エネルギー基準Ⅱ地域以南に適合しています。 |
| | | | 3R | ― | ― |
| | | | PF | ノンフロン | 壁パネルの発泡ウレタンにはフロンガスを使用しておりません。 |
| | | | | F☆☆☆☆ | 壁パネルのOSB合板はJAS規格によるF☆☆☆☆等級品を使用しています。 |
| | 快間ウォール 商品を見る | | HL | ― | ― |
| | | | 3R | 省施工・易解体 | 面材と断熱材を一体化していますので、施工が簡単で短工期化につながります。<br>面材と断熱材を簡単に分離できる構造としていますので、現場端材の分離が容易です。 |
| | | | PF | 有害物質対策 | 断熱材は発泡ポリスチレンを使用していますのでフロンガスを含んでおりません。<br>面材はJAS規格のF☆☆☆☆品を使用しております。 |
| | 快間トップ 商品を見る | | HL | 断熱 | 次世代省エネルギー基準適合サッシ・快間ウォールHGとの組み合わせにより、次世代省エネルギー基準Ⅲ地域以南に適合します。 |
| | | | 3R | 省施工 | 小屋梁に載せる半落とし込みの大判パネル仕様です。天井断熱材の施工が簡単で短工期化につながります。 |
| | | | PF | ノンフロン | 断熱材は発泡ポリスチレンを使用していますのでフロンガスを含んでおりません。 |
| 賃貸住宅商品 | リジェーロV 商品を見る | k2仕様 | HL | 高断熱 | 次世代エネルギー基準Ⅰ地域以南に適合しています。 |
| | | | 3R | 省資源 | 必要な性能を確保しながら部材・部品を削減・共通化することで、材料の省資源化を図っています。 |
| | | | PF | ノンフロン | ドア本体の断熱材は水発泡ウレタンを使用していますので、フロンガス(特定フロンガス及び代替フロンガス)を含んでおりません。 |
| | | k3仕様 | HL | 高断熱 | 次世代エネルギー基準Ⅲ地域以南に適合しています。 |
| | | | 3R | 省資源 | 必要な性能を確保しながら部材・部品を削減・共通化することで、材料の省資源化を図っています。 |
| | | | PF | ノンフロン | ドア本体の断熱材はペーパーハニカムまたは水発泡ウレタンを使用していますので、フロンガス(特定フロンガス及び代替フロンガス)を含んでおりません。 |
| | | k4仕様 | HL | 断熱 | 次世代エネルギー基準Ⅳ地域以南に適合しています。 |
| | | | 3R | 省資源 | 必要な性能を確保しながら部材・部品を削減・共通化することで、材料の省資源化を図っています。 |
| | | | PF | ― | ― |
| | | k6仕様 | HL | ― | ― |
| | | | 3R | 省資源 | 必要な性能を確保しながら部材・部品を削減・共通化することで、材料の省資源化を図っています。 |
| | | | PF | ― | ― |
| | 賃貸住宅商品(CL) WEB カタログへ | | HL | ― | ― |
| | | | 3R | ― | ― |
| | | | PF | 低VOC | ホルムアルデヒドやトルエン、キシレンなど、室内空気汚染物質の放散を抑制した低VOC仕様です。 |
| 店舗・ビル商 | ユービアルESシリーズ 商品を見る | | HL | 断熱 | 開口部はビル用断熱商品を組み込むことができます。 |
| | | | | 三性能向上 | 従来の小店舗向け商品に比べ気密性能、水密性能、耐風圧性能が向上しています。 |
| | | | 3R | ― | ― |
| | | | PF | ― | ― |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 品 | ホールディングスクリーン／折れ戸「ラクタス・スリム」<br>商品を見る | HL | 採風・採光 | フルオープンが可能ですので自然の風・陽光を十分に採り込むことができます。<br>障子をスリム化していますのでクローズ時の採光面積が大幅に増えています。 |
| | | 3R | 省資源 | 必要な強度を確保しながら部材を削減し、スリム化することで材料の省資源化をはかっています。 |
| | | PF | ― | ― |
| | フロンテック<br>商品を見る | HL | 省エネ | 断熱性の高い複層ガラス仕様は冷暖房エネルギーを削減します。<br>「ESシリーズ」は気密性が高く、さらなる省エネにつながります。 |
| | | HL | 高耐久 | 高耐候表面処理「テクスガード」や熱転写材「デマリオ」など、サッシの表面処理は従来品以上に腐食し難く、耐久性が向上しています。 |
| | | 3R | 省資源 | 生産時に発生する形材端材や、商品の梱包資材を最小限に抑えています。 |
| | | PF | ― | ― |
| | PRO-SE<br>（プローゼ）<br>商品を見る | HL | 断熱 | 空気層12㎜の複層ガラス使用時は最大H-2等級に適合しています。<br>二重サッシ枠の設定や樹脂製内窓との組合せにより断熱化をはかれます。（ガラリは除く） |
| | | 3R | 部品・部材削減 | 部品・部材の集約、共通化を進めています。 |
| | | PF | ― | ― |
| | PRO－SE100<br>（プローゼ100）<br>商品を見る | HL | 断熱 | 断熱性の高い空気層12mmの複層ガラスまで使用することができます。 |
| | | 3R | ― | ― |
| | | PF | ― | ― |
| | PRO-SE・L3<br>（プローゼ エルスリー）<br>商品を見る | HL | 断熱 | 断熱性の高い空気層12mmの複層ガラスまで使用することができます。 |
| | | 3R | 省資源 | 必要な強度を確保しながら部材のスリム化、部材・部品の共通化により、材料の省資源化をはかっています。 |
| | | PF | ― | ― |
| | ・シンフォニーウッディBW<br>・シンフォニーマイルドBM<br>商品を見る | HL | 高断熱 | 次世代省エネルギー基準Ⅲ地域（複層ガラスA12使用時）に対応しています。 |
| | | 3R | 易解体 | アルミ樹脂複合形材は嵌合＋ねじ止め構造を採用し、解体性が向上しています。 |
| | | PF | ― | ― |
| | EXカーテンウォールⅡスリム<br>60N／60NPG<br>商品を見る | HL | 断熱 | 空気層12 mmの複層ガラスまで対応できます。 |
| | | 3R | ― | ― |
| | | PF | ― | ― |
| | E-SHAPE<br>（イーシェイプ）<br>商品を見る | HL | 断熱 | 空気層12 mmの複層ガラスまで対応できます。 |
| | | 3R | ― | ― |
| | | PF | ― | ― |

BACK　　　このページの先頭へ

# 事業活動の取り組み

事業活動にともない、多くのエネルギー、資源、原材料、化学物質などが投入され、また多くの$CO_2$、廃棄物、化学物質などが排出されています。当社では、事業活動に伴う環境負荷をできるだけ抑えるために、「地球温暖化防止」「省資源・廃棄物削減」「化学物質管理・汚染防止」の3つを重点項目として取り組んでいます。
循環型社会を形成し、環境リスクを軽減させていくためには、資源の有効活用、環境負荷物質の排出量低減が不可欠です。INPUT／OUTPUTの両面から、事業活動がおよぼす環境負荷の低減に取り組んでいます。

## 2010年度 INPUT/OUTOUT 実績

### INPUT

**エネルギー**

| | |
|---|---|
| 電力 | 488,090Mwh |
| 重油 | 5,618kl |
| 灯油 | 889kl |
| LPG | 3,751t |
| 天然ガス | 49,957千$m^3$ |
| ガソリン | 4,489kl |
| 構内使用軽油 | 1,271kl |
| 輸送用軽油 | 20,354kl |

**原材料**

| | |
|---|---|
| アルミ原料<br>(市中アルミ・リサイクルアルミ含) | 120,159t |
| 木質原料 | 136,111t |
| 鋼板原料 | 23,960t |
| 樹脂原料 | 9,814t |
| 窯業原料 | 69,790t |
| 梱包資材 | 9,669t |

**資　源**

| | |
|---|---|
| 用水 | 6,427千$m^3$ |
| PRTR化学物質 | 1,717t |

### トステム

本社 営業拠点

工　場

CLICK! 工場の中のエコ

工事拠点

### OUTPUT

**大気へ**

| | |
|---|---|
| $CO_2$ | 325,829t |
| $CO_2$(輸送) | 53,200t |
| $No_x$ | 261t |
| $So_x$ | 14t |
| 化学物質 | 313t |

**水系へ**

| | |
|---|---|
| 排水 | 4,675千$m^3$ |
| BOD | 16t |
| COD | 42t |
| 化学物質 | 18t |

**廃棄物**

| | |
|---|---|
| リサイクル | 16,877t |
| 埋立量 | 12,012t |

集計範囲：国内全事業所、海外2工場

## [ INDEX ]


- 地球温暖化防止　地球温暖化防止（2010年度実績）
- 省資源・廃棄物削減　廃棄物削減（2010年度実績）／省資源（資源投入量2010年度実績）
- 化学物質管理・汚染防止　化学物質管理（2010年度実績）／汚染防止（2010年度実績）
- 各事業所での取り組み　生産部門／研究開発部門／営業オフィス部門／物流部門

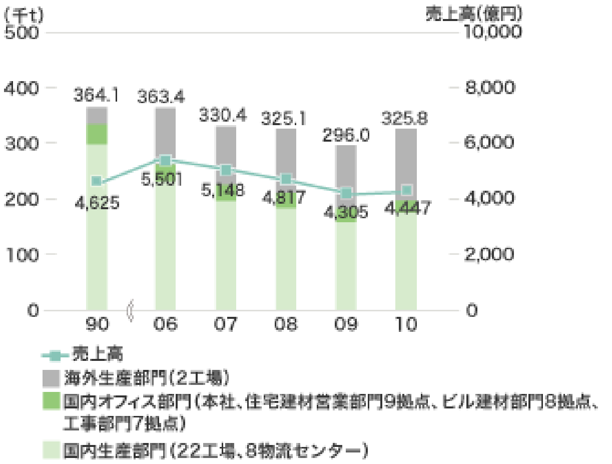
## 地球温暖化防止

事業活動のあらゆるプロセスで排出される$CO_2$を抑制するために、個人の意識や作業改善といった地道な活動から、生産工場の設備・プロセス改善など投資を伴う活動まで、全社的に省エネ活動を行っています。

**2010年度実績**

$CO_2$の排出量を1990年度比 **10.5%**（38.3千t）削減

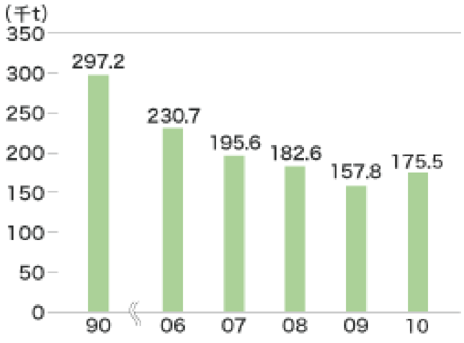
### ◆ $CO_2$総排出量の推移




※2010年度からは、豊橋工場、綾部工場、松戸工場、吉見工場、勝央工場は閉鎖、小山工場、水戸工場、可児工場は取り扱う製品により（株）ＬＩＸＩＬ設立までの間、（旧）トステム株式会社から他のグループ会社（旧）（株）ＩＮＡＸや（旧）サンウェーブ工業（株）へ一時的に移管した為、上記データより除外しています。

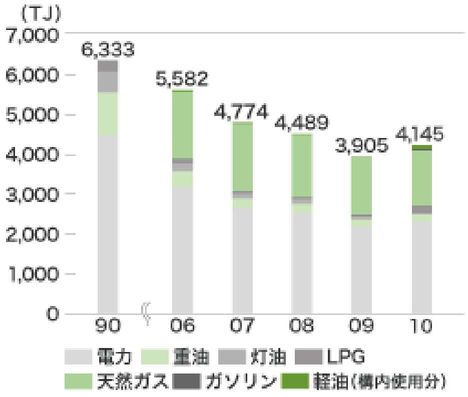
## 国内生産拠点

### ◆ $CO_2$排出量推移




（集計範囲：国内22工場、8物流センター）

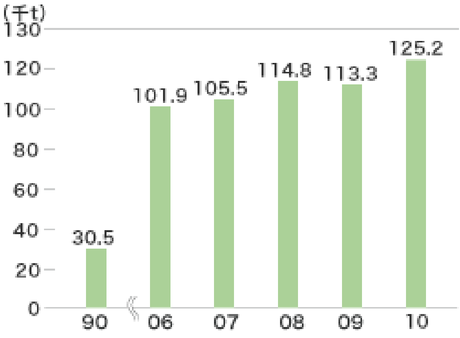
### ◆ エネルギー投入量推移




（集計範囲：国内22工場、8物流センター）

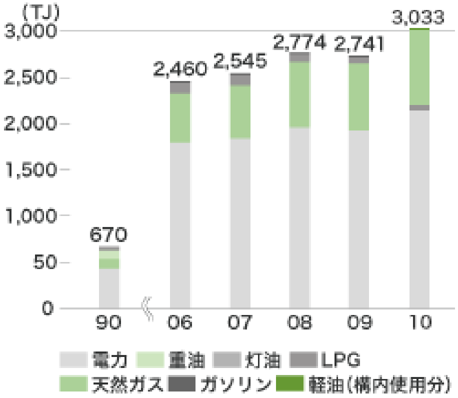
## 海外生産拠点

◆ $CO_2$排出量推移




（集計範囲：海外2工場）

◆ エネルギー投入量推移




（集計範囲：海外2工場）

# 省資源・廃棄物削減

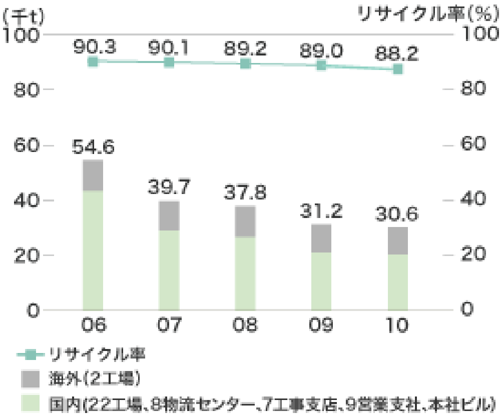
## 廃棄物削減

事業活動にともなって発生する廃棄物に関しては、オフィス業務から生産工程に至るまで、3Rを基本とした削減対策を徹底しています。また、法規制の遵守はもちろん、リスク管理体制の強化も継続していきます。

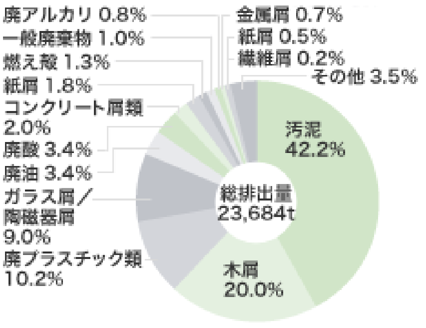
**2010年度実績**

| | |
|---|---|
| 産業廃棄物排出量を2007年度比 | 22.9%（9062.9t）削減 |
| リサイクル率 | 88.2% |

### ◆ 廃棄物総排出量の推移

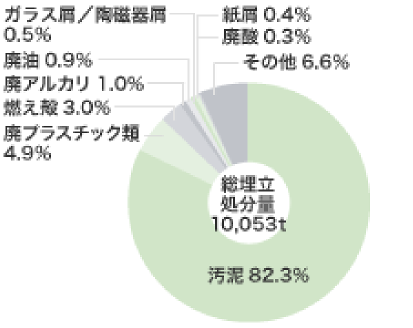



### ◆ 廃棄物排出量内訳




※社内リサイクルは除く
（集計範囲：海外2工場、国内22工場、8物流センター）

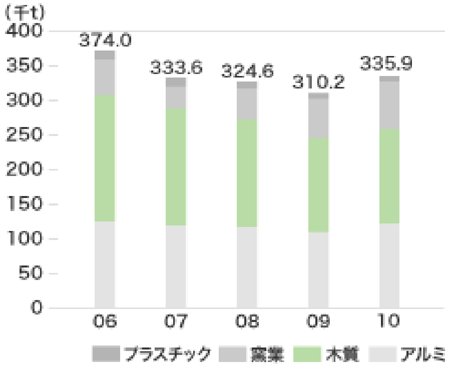
### ◆ 廃棄物埋立処分量内訳




※社内リサイクルは除く
（集計範囲：海外2工場、国内22工場、8物流センター）

## 省資源

### ◆ 主な原材料の投入量推移




（集計範囲：海外2工場、国内22工場）

### TOPICS

**市中アルミリサイクルの推進**

アルミサッシのライフサイクルの中で、素材製造段階はもっとも環境負荷が高く、総エネルギー消費量のおよそ80%を占めています。しかし、すでに素材となっている再生地金や市中アルミリサイクル材を、サッシ地金の一部として使用することにより、アルミ精錬に必要な大量の電力使用量を削減することができます。循環型社会形成にもつながることから、当社ではアルミリサイクル材の利用を推進しています。

# 化学物質管理・汚染防止

## 化学物質管理

有害物質に関しては、環境関連法令・指針基準、その他の知見などから694種類の化学物質を選定し、リスクレベルによって3段階に分類して管理しています。PRTR対象化学物質排出移動量について、2010年度は2007年度比21.9%の削減となりました。引き続き、生産工場ではPRTR法に基づく指定化学物質の管理と排出量の削減を進めています。

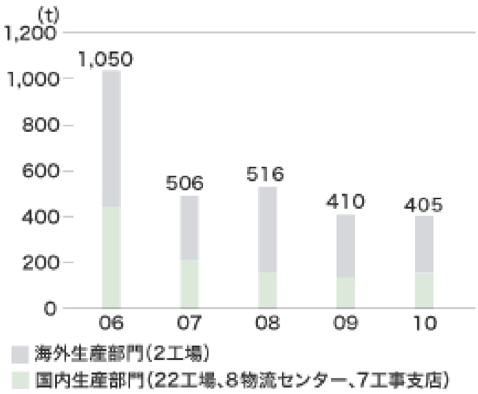
**2010年度実績**
PRTR対象化学物質排出移動量を2007年度比 **19.9%**（100.7t）削減

### ◆ 管理対象化学物質リスクレベル分類

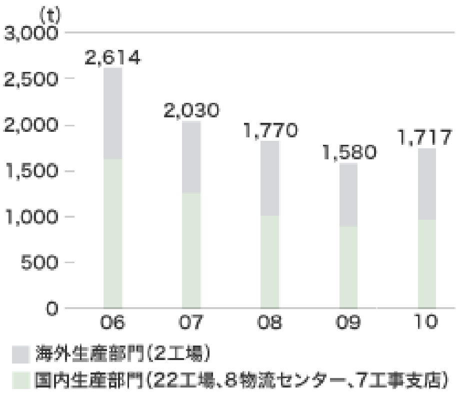
| 有害性 | レベル | 種類 | 分類の基準 |
|---|---|---|---|
| 高 | Ⅰ | 41種類 | 環境関連法令・基準等で使用や製造が禁止※されているか、禁止されていないが有害性が明らかで（発癌性IARCクラス1や公害問題の対象となっている等）、速やかな削減が必要とされる有害物質 |
| ↕ | Ⅱ | 63種類 | レベルⅠの次に有害性が高いことが、環境関連法令・基準等であげられている有害物質で、社会状況等からも優先的に削減計画に加えることが適当な有害物質 |
| 低 | Ⅲ | 590種類 | 環境関連法令・基準等であげられている残りの全有害物質の中から、当社が指定する検討対象有害物質候補。著しい環境影響が予想される場合、削減対象に加えていく |

※ 許可なく輸入や製造をしてはいけない物質

### ◆ PRTR対象化学物質・排出移動量の推移



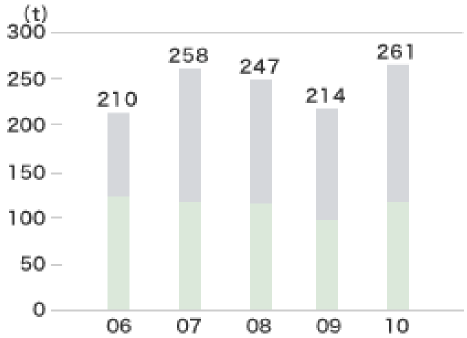

### ◆ PRTR対象化学物質取扱量の推移



## 汚染防止

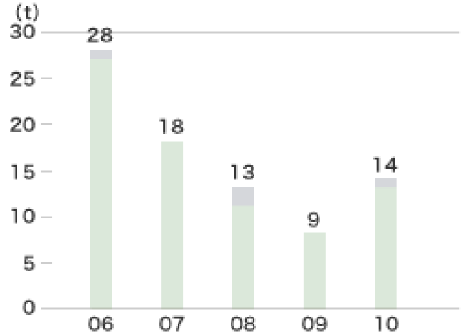
### [ 大気汚染物質 ]

◆ 窒素酸化物（NOx）排出量推移




（集計範囲：海外2工場、国内22工場）

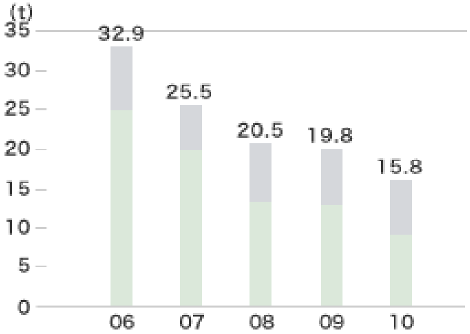
◆ 硫黄酸化物（SOx）排出量推移




（集計範囲：海外2工場、国内22工場）

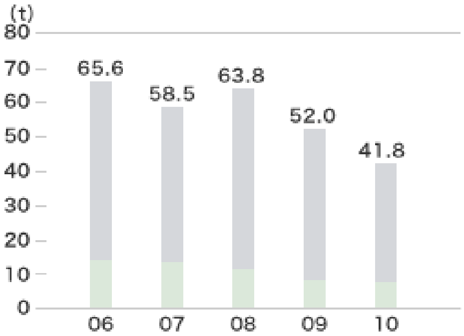
### [ 水質汚濁物質 ]

◆ 生物化学的酸素要求量（BOD）推移



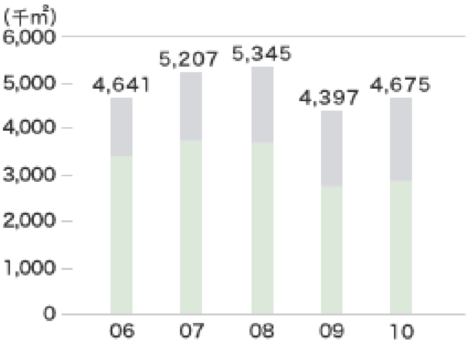

（集計範囲：表面処理設備所持工場…海外1工場、国内6工場）

◆ 化学的酸素要求量（COD）推移




（集計範囲：表面処理設備所持工場…海外1工場、国内6工場）

◆ 排水量




（集計範囲：海外2工場、国内22工場）

# 各事業所での取り組み

全国にある生産工場、物流拠点、営業拠点などでは、「$CO_2$」「廃棄物」「化学物質」の削減を重点項目として、事業所ごとに目標を掲げて環境負荷が少ない商品づくりや事業活動に取り組んでいます。

## 生産部門

地球温暖化対策として、コジェネレーション設備などの省エネ設備の導入や生産性向上によるエネルギー消費効率の向上を図るとともに、クリーンエネルギーである天然ガスへの切り換えを進めることで、$CO_2$排出量、大気汚染物質排出量を大幅に低減させています。
また、国内、海外合わせて24工場のすべての生産拠点で、廃棄物削減活動に取り組んでいます。生産部門における産業廃棄物排出量は、2007年度に比べ2010年度は34.5%の削減となり、リサイクル率（社内リサイクルは除く）は83.8%を達成しています。

▲コジェネレーション設備全景

▲工場のゴミ分別

## 研究開発部門

現在、環境への社会的な関心の高まりを受け、機械などの手段を使わずに、光や風といった自然のエネルギーを使うことを基本とする住宅「パッシブ住宅」が注目されています。パッシブ住宅では開口部が大きな役割を果たしており、当社ではトータルハウジングの観点から特に通風に関する研究を進めています。

▲風洞実験風景

## 営業オフィス部門

日常的な電気使用量を減らす取り組みを各事業所で行っています。昼休みの照明の消灯、蛍光灯の反射板設置、一部のショールームではLED照明へ切り替えています。コピー機は待機時間は節電モードに設定、空調：設定温度を夏は28℃、冬は20℃に抑えています。
また一般廃棄物をできる限り分別・リサイクルし、営業車両にはアイドリングストップのステッカーを貼り、エコドライブの教育を行なっています。

▲アイドリングストップステッカー

## 物流部門

輸送用の自社トラックを保有していないため、物流は外部運送会社に委託していますが、輸送効率や輸送ルートを改善し車両台数を減らすことで、消費燃料の削減に努めています。関東からの長距離輸送について、段階的にモーダルシフトを推進しています。また、梱包材を少しでも減らして簡素化することで、省資源・使用後の廃材削減に努めています。梱包を工夫することで1度の積載量を増やし、輸送にかかる$CO_2$排出量低減を進めています。

◇ 勝手口ドア上下ダンボール廃止

改善前

改善後

# 商品と環境活動の歩み

| | |
|---|---|
| 1992 | ▪ ポリウレタン発泡の水処方への代替開始<br>▪ 断熱玄関ドア「ボイーズ」発売<br>▪ ユニットひさし「キャピア」発売 |
| 1993 | ▪ 「トステム環境ボランタリープラン」策定<br>▪ 全社環境委員会の発足<br>▪ 天窓「スカイライト」チルト開閉タイプ発売 |
| 1994 | ▪ トリクロロエタン(部品洗浄用)の使用全廃<br>▪ 中低層ビル用サッシ発売 |
| 1995 | ▪ 第1回「エコファクトリー成果発表大会」の開催<br>▪ ポリウレタン発泡における特定フロンの使用全廃<br>▪ 断熱・防露アルミサッシ「サーマル」発売<br>▪ 高性能住宅構造体パネル工法の開発 |
| 1996 | ▪ 主力3工場に自家発電コージェネレーションシステムを導入<br>▪ トステム環境行動計画を公表<br>▪ アルミ溶解炉のリジェネバーナーへの更新開始<br>▪ トリクロロエチレンによる土壌汚染の調査開始<br>▪ リフォーム用玄関ドア発売<br>▪ テラス囲いユニット「ほせるんです」発売 |
| 1997 | ▪ 大生郷工場がISO14001認証取得<br>▪ リビング建材商品の化粧シートを非塩ビに切り替え完了<br>▪ 風除室「ツインガード」発売 |
| 1998 | ▪ RDFリサイクル設備およびアルミスラッジ乾燥設備導入開始<br>▪ 下妻工場が茨城県から「地球に優しい企業の表彰」受賞 |
| 1999 | ▪ 鹿沼工場がISO14001認証取得<br>▪ 日本サッシ協会「環境問題対策部会」に参加<br>▪ 梱包材から塩ビを全廃<br>▪ 大生郷工場、有明工場が「エネルギー管理優良工場表彰」受賞<br>▪ インテリア断熱サッシ「シンフォニー」発売<br>▪ 玄関・勝手口用横引収納網戸「しまえるんです」発売 |
| 2000 | ▪ タイ工場がISO 14 001認証取得<br>▪ 木質系建材を低ホルムアルデヒド仕様に対応完了<br>▪ 社内環境教育制度開始<br>▪ 環境会計の集計開始<br>▪ 断熱玄関引戸「花伝」「光悦」発売<br>▪ リニア式自動室内引戸「らくらくサポー戸」発売 |
| 2001 | ▪ グリーン調達基準書の策定<br>▪ 全社的に環境マネジメントシステムを展開<br>▪ $CO_2$削減・廃棄物ゼロエミッション・有害化学物質削減の目標設定<br>▪ リフォームドア「リフォルテ」発売 |

| | |
|---|---|
| 2002 | ・土壌汚染リスク管理による土壌調査実施<br>・環境報告書を初めて発行<br>・商品アセスメントの運用開始<br>・玄関ドア「レグナム」スマートキー仕様、タッチキー仕様発売<br>・鋳物面格子発売<br>・木質系複合玄関ドア「デュミナス」発売 |
| 2003 | ・ISO14001認証を全社一括取得<br>・タイプⅢ環境ラベルを導入<br>・前橋工場にNEDO事業として天然ガスコージェネレーションシステムが本格稼動<br>・環境会計監査を実施<br>・床材「ベース12」の法令不適合品流出への対応<br>・住生活G共同で初めてエコプロダクツ展に出展<br>・次世代の複合断熱サッシ「シンフォニー」発売と、LCA分析の実施<br>・リサイクル原料を用いた人工木デッキ「リコステージ」発売<br>・浴室の断熱性や節水性に配慮したバスルーム「レフィノⅣ」発売<br>・すべてのリビング建材をホルムアルデヒド発散等級F☆☆☆☆へ切替え完了 |
| 2004 | ・一関工場にコージェネレーション設備を導入<br>・久居工場に天然ガスコージェネレーション設備を導入<br>・本社ビルに節水トイレを導入<br>・樹脂アングルで結露の発生を抑える次世代サッシ「デュオPG」発売<br>・清掃性、耐久性に優れたシステムキッチン「クレディア」発売<br>・湿気を自在に調節し、VOCを吸着・分解するサスティナビリティ建材「モイス」発売 |
| 2005 | ・大連工場がISO14001認証取得<br>・岩井工場にコージェネレーション設備を導入<br>・当社のアスベストの使用状況がまとまる<br>・綾部工場に木屑を燃料としたコージェネレーション設備を導入<br>・「100万人のキャンドルナイト」（冬至）に初参加<br>・チームマイナス6%に全社で参加しオリジナルロゴを設定<br>・優れた断熱性と200%の開放感を実現する全開口サッシ「オープンウィン」発売<br>・取り付け場所を選ばない新発想スタイリッシュオーニング「彩樹」発売<br>・清掃性に優れたシステムキッチン「プラータ」発売 |
| 2006 | ・下妻工場が天然ガスへの燃料転換を実施<br>・「$CO_2$ダイエット宣言 '06冬」に団体参加<br>・名張工場が天然ガスへ燃料転換の実施と天然ガス利用のコージェネレーションシステムを導入<br>・天然木の素材感を細部まで再現した断熱玄関ドア「フォラード」発売<br>・インテリアとしてのデザイン性を高めたシステムキッチン「新クレディア」発売<br>・シンプル、スタイリッシュで高性能 ハイブリッドサッシ 「シンプルアートEX」発売 |
| 2007 | ・全社の$CO_2$排出量を1990年度比9%削減<br>・「100万人のキャンドルナイト」の正式なキャンドルホルダーとして参加<br>・ステークホルダーミーティングを初めて開催<br>・東京ショールームにリフォームコーナーを開設<br>・高いデザイン性と豊富なラインアップの断熱玄関ドア「ディクシード」を発売 |

| | |
|---|---|
| | ・自然の力で汚れを落とす、超親水性膜によるクリーニング技術「アクアコート」発売<br>・シンプルな意匠性を追求しすっきりとしたフォルムを実現した、アクセント窓シリーズ「シンプルアートⅡ」発売 |
| 2008 | ・全社の$CO_2$を1990年度比10.7%削減<br>・「$CO_2$ダイエット宣言 '08冬」に団体参加<br>・「環境配慮型商品」の売上高比率70%達成<br>・北海道洞爺湖サミット記念「環境総合展2008」に出展<br>・6月22日に"全国一斉トステム『エコの日』を開催<br>・トステム×緑の募金　ショールームご来場者がエコ貢献「Make a forest！運動」実施<br>・光、風、風景をとり込む、大型ピクチャーウィンドウ「大型スクエア窓」新発売<br>・"インテリアキッチン"新「クレディア」新発売<br>・ICカードキー「CAZAS」対応 リフォームドア「リシェント」新発売<br>・内装建材「ウッディーライン」シリーズ室内ドア新発売<br>・究極の"シンプルドア"、断熱玄関ドア「DD（デザイナーズ・ドア）」新発売<br>・業界初！42m/sの耐風圧強度を実現したテラス屋根「パワーアルファ」新発売<br>・デザインだけでなく上質感も演出した洗面化粧台「セリアーレ」新発売 |
| 2009 | ・全社の$CO_2$を1990年度比18.7%削減<br>・「環境配慮型商品」の売上高比率76.4%達成<br>・廃棄物を2007年度比10.8%削減<br>・トステムいのちの森プロジェクト発足/第1弾：下妻工場植樹祭開催<br>・100万人のキャンドルナイト2009夏至・冬至に参加<br>・段差わずか8mm、玄関引戸の新しいスタイル スライディングドア「エルムーブ」新発売<br>・洗練されたスタイリッシュデザインのシステムキッチン「ヴィート ワン」新発売<br>・スピード施工の後付け「リフォームシャッター」新発売<br>・「CAZAS」標準装備、断熱玄関ドア「CZ玄関ドア」新発売<br>・高い断熱性と防湿性を実現、気密・断熱小屋パネル「快間（カイカン）トップ」新発売<br>・硬質リサイクルボード採用の環境配慮型高機能床材「エコハード12」新発売<br>・"遮熱高断熱複層ガラス"を標準採用、自然換気できる天窓「スカイシアター」新発売<br>・業界最高レベルの断熱性能、ドア厚60mmの断熱玄関ドア「グルエ」新発売<br>・簡単・手軽にリフォームできる取替えキッチン「パッとりくん」新発売<br>・ビル用アルミサッシ「PRO－SE・L3（プローゼ エルスリー）」新発売 |
| 2010 | ・全社の$CO_2$を1990年度比10.5%削減<br>・「環境配慮型商品」の売上高比率82.6%達成<br>・廃棄物を2007年度比22.9%削減<br>・トステムいのちの森プロジェクト発足/第2弾：前橋工場植樹祭開催<br>・100万人のキャンドルナイト2010夏至・冬至に参加<br>・「トステム環境コミットメント2015」を策定<br>・国内最大規模のメガソーラー発電施設、有明工場（熊本県長洲町）と岩井工場（茨城県坂東市）で稼働開始<br>・「縦すべり出し窓 採風モデル」新発売<br>・指はさみ防止開閉構造「インナーピボットヒンジ」を採用した断熱玄関ドア「ES玄関ドア」新発売<br>・業界初のフレームと複層ガラスの一体化技術「スマートシナジーシステム」を |

| | |
|---|---|
| | - 採用した次世代スタンダードウィンドウ「サーモス」を開発<br>- 基材に環境負荷の少ない植林木複合合板を使用した床材「ハーモニアス ライト12E」新発売<br>- LDK空間をトータルコーディネートできるインテリア収納「TasBox」（タスボックス）新発売<br>- 高い断熱性能とシンプルなデザインを追及したビル用サッシ「プローゼ100」新発売<br>- カザリアシリーズ「コートラインⅡ」に人工木タイプの「エコリルウッド格子」新発売<br>- 業界初のホコリを寄せ付けない新機能『ダストバリア』を開発 |